

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年3月13日提出
【計算期間】	第20期(自 2018年12月18日至 2019年12月16日)
【ファンド名】	三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５ 三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０ 三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５
【発行者名】	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目１２番１号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【連絡場所】	東京都千代田区有楽町一丁目１２番１号
【電話番号】	03-6250-4740
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（１）【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

信託金の限度額は、各ファンドについて、5,000億円です。

※委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型	国内	株式	MMF	インデックス型
	海外	債券	MR F	
追加型		不動産投信		
	内外	その他資産 ()	E T F	特殊型 ()
		資産複合		

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替 ヘッジ	対象 インデックス	特殊型
株式	年１回	グローバル (日本を含む)	ファミリー ファンド	あり ()	日経２２５	ブル・ベア型
一般	年２回					
大型株	年４回	日本			TOPIX	条件付運用型
中小型株	年６回	北米	ファンド・	なし		
債券	年１２回 (隔月)	欧州	オブ・		その他 ()	ロング・
一般	年１２回 (毎月)	アジア	ファンズ			ショート型／
公債	日々	オセアニア				絶対収益
社債	その他 ()	中南米				追求型
その他債券		アフリカ				その他 ()
クレジット		中近東 (中東)				
属性 ()		エマージング				
不動産投信						
その他資産 (投資信託証券 (資産複合(株 式、債券)))						
資産複合 ()						

※当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）でご覧いただけます。

※ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源

泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円で為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいいます。
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMMFをいいます。
	MR F（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMR Fをいいます。
	E T F	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	特殊型	信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

※上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		大型株	信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
		中小型株	信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。

	公債	信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	クレジット属性	目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（BBB格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（BB格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。
	不動産投信	信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。
	決算頻度	
	年1回	信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年2回	信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。
投資対象地域	年4回	信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年6回（隔月）	信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
	グローバル	信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資形態	オセアニア	信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中南米	信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アフリカ	信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中近東（中東）	信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産（一部組み入れている場合等を除きます。）を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	ファミリーファンド	信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。

	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経225	信託約款において、日経225に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	TOPIX	信託約款において、TOPIXに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型／絶対収益追求型	信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

※上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

[ファンドの目的・特色]

ファンドの目的

内外の株式・債券を実質的な主要投資対象とし、各資産の指数を合成した指数をベンチマークとして、中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざします。

ファンドの特色

- 国内株式・国内債券・海外株式・海外債券への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざします。
- 各資産の市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で資産配分の変更を行うことにより、リスク分散にも留意した資産構成をめざします。資産配分の変更の範囲は、国内債券については標準組入比率からプラスマイナス10%程度、国内株式・海外株式・海外債券については標準組入比率からプラスマイナス5%程度とします。各資産の標準組入比率は下表の通りです。

	ベンチマーク	三菱UFJ ライフプラン 25	三菱UFJ ライフプラン 50	三菱UFJ ライフプラン 75
国内株式	TOPIX(東証株価指数)	15%	30%	45%
国内債券	NOMURA-BPI<総合> (国内債券投資収益指数)	60%	35%	15%
海外株式	MSCI KOKUSAI インデックス(円換算ベース)	10%	20%	30%
海外債券	FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)	10%	10%	5%
短期金融 資産	有担保コール(翌日物)	5%	5%	5%

- 各資産毎のベンチマーク^{※1}をファンドの各資産の標準組入比率で組み合わせた合成指数をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。
- 実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。ただし、エクスポージャー^{※2}のコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
- 市況動向等を勘案して、標準組入比率および資産配分の変更の範囲の見直しを行う場合があります。

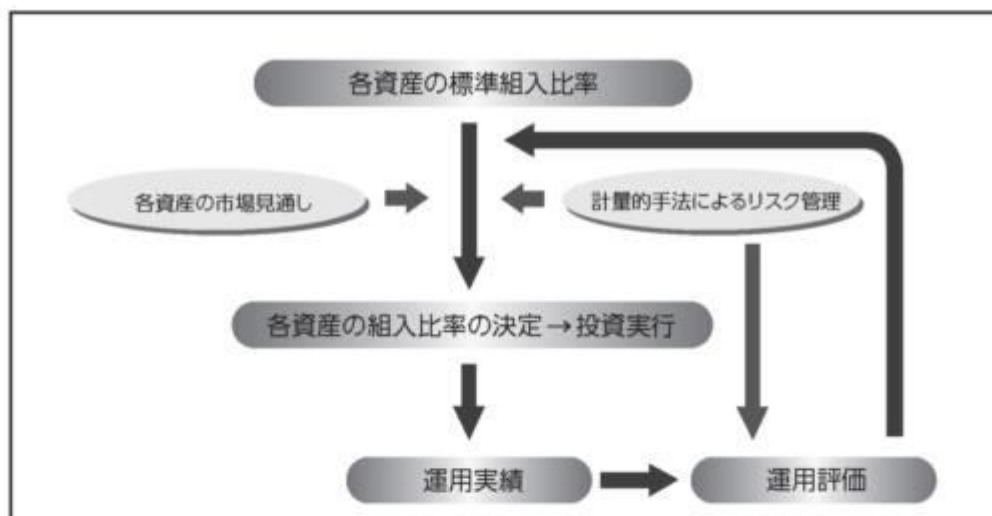
※1 ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。

※2 エクスポージャーとは、金融資産のうち市場の価格変動リスク・為替変動リスクにさらしている資産の度合いのことをいいます。

〔資産の組入比率の決定プロセス〕

各資産の組入比率は、標準組入比率を基準に、市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で決定します。その後実際の運用を行い、その運用実績の評価を参考に、再び組入比率の検討を行います。

（イメージ図）

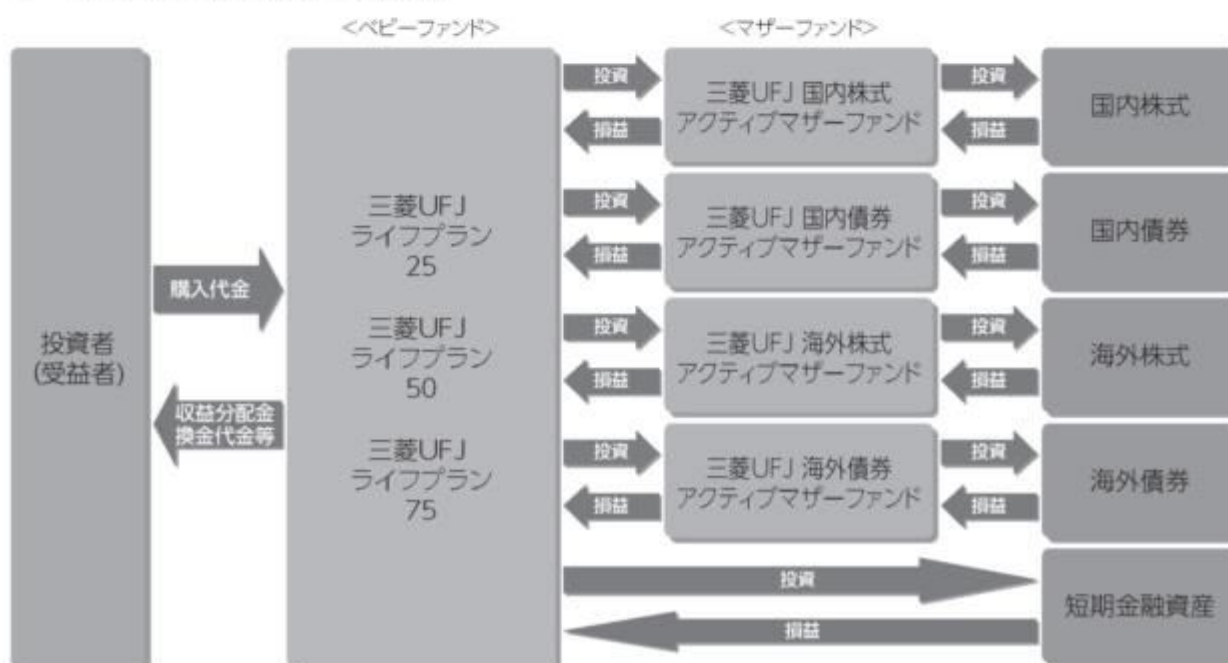


■ 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

☞ 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>) でご覧いただけます。

■ ファンドの仕組み

運用は主に各マザーファンドへの投資を通じて、内外の株式・債券へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



*各ファンドは無手数料でスイッチング(乗換)が可能です。また、換金するファンドに対して税金がかかります。

■主な投資制限

「三菱UFJ ライフプラン 25」

- ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
- ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の40%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

「三菱UFJ ライフプラン 50」

- ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の70%未満とします。
- ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

「三菱UFJ ライフプラン 75」

- ・株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の60%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

■分配方針

- ・年1回の決算時(12月15日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

指数について

TOPIX(東証株価指数)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

NOMURA-BPI<総合>(国内債券投資収益指数)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI KOKUSAIインデックス(円換算ベース)は、MSCI KOKUSAIインデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。

また、MSCI KOKUSAIインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(2) 【ファンドの沿革】

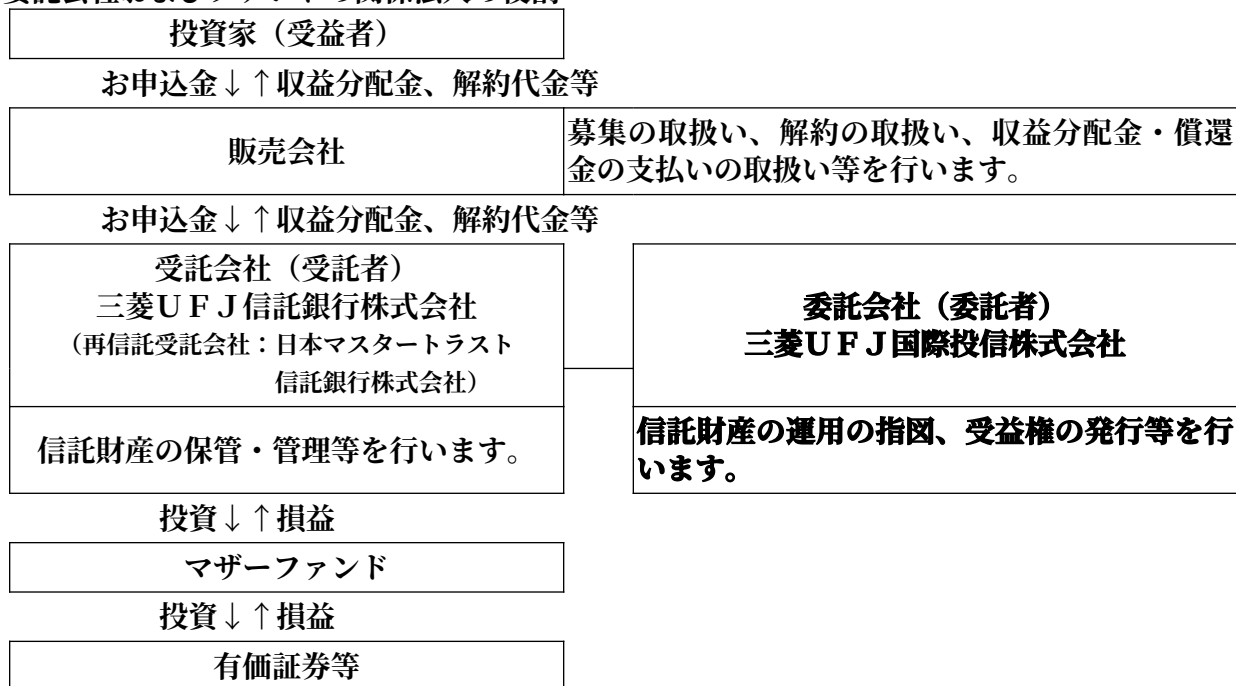
2000年8月11日

設定日、信託契約締結、運用開始

2004年10月1日	ファンドの委託会社の業務を三菱信アセットマネジメント株式会社から三菱投信株式会社に承継 ファンドの名称を「三菱信 ライフプラン 25」、「三菱信 ライフプラン 50」、「三菱信 ライフプラン 75」から各々「三菱 ライフプラン 25」、「三菱 ライフプラン 50」、「三菱 ライフプラン 75」に変更
2005年10月1日	ファンドの名称を「三菱 ライフプラン 25」、「三菱 ライフプラン 50」、「三菱 ライフプラン 75」から各々「三菱UFJ ライフプラン 25」、「三菱UFJ ライフプラン 50」、「三菱UFJ ライフプラン 75」に変更

（３）【ファンドの仕組み】

①委託会社およびファンドの関係法人の役割



②委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

③委託会社の概況（2019年12月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革

1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
 2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に變更
 2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に變更
 2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に變更

・大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

2【投資方針】

（1）【投資方針】

〔三菱UFJ ライフプラン 25〕

国内株式15%、国内債券60%、海外株式10%、海外債券10%、短期金融資産5%を標準組入比率とします。各資産の市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で資産配分の変更を行うことにより、リスク分散にも留意した資産構成を目指します。資産配分の変更の範囲は、国内債券については標準組入比率からプラスマイナス10%程度、国内株式・海外株式・海外債券については標準組入比率からプラスマイナス5%程度とします。

TOPIX（東証株価指数）15%、NOMURA-BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数）60%、MSCI KOKUSAI インデックス（円換算ベース）10%、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）10%、有担保コール（翌日物）5%を組み合わせた合成指数をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

〔三菱UFJ ライフプラン 50〕

国内株式30%、国内債券35%、海外株式20%、海外債券10%、短期金融資産5%を標準組入比率とします。各資産の市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で資産配分の変更を行うことにより、リスク分散にも留意した資産構成を目指します。資産配分の変更の範囲は、国内債券については標準組入比率からプラスマイナス10%程度、国内株式・海外株式・海外債券については標準組入比率からプラスマイナス5%程度とします。

TOPIX（東証株価指数）30%、NOMURA-BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数）35%、MSCI KOKUSAI インデックス（円換算ベース）20%、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）10%、有担保コール（翌日物）5%を組み合わせた合成指数をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

株式以外の資産（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合には、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資は、原則として信託財産総額の75%以下とします。

〔三菱UFJ ライフプラン 75〕

国内株式45%、国内債券15%、海外株式30%、海外債券5%、短期金融資産5%を標準組入比率とします。各資産の市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で資産配分の変更を行うことにより、リスク分散にも留意した資産構成を目指します。資産配分の変更の範囲は、国内債券については標準組入比率からプラスマイナス10%程度、国内株式・海外株式・海外債券については標準組入比率からプラスマイナス5%程度とします。

TOPIX（東証株価指数）45%、NOMURA-BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数）15%、MSCI KOKUSAI インデックス（円換算ベース）30%、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）5%、有担保コール（翌日物）5%を組み合わせた合成指数をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

株式以外の資産（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合には、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資は、原則として信託財産総額の75%以下とします。

す。）への投資は、原則として信託財産総額の75%以下とします。

<ファンド共通>

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド受益証券、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド受益証券および三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、内外の株式・公社債に直接投資することがあります。各マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式・国内債券・海外株式・海外債券へ分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。

実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

市況動向等を勘案して、標準組入比率および資産配分の変更の範囲の見直しを行う場合があります。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

(2) 【投資対象】

①投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ. 有価証券
 - ロ. デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、信託約款に定める次のものに限ります。）
 - a. 有価証券先物取引等
 - b. スワップ取引
 - c. 金利先渡取引および為替先渡取引
 - ハ. 約束手形
- ニ. 金銭債権
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ. 為替手形

②有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、三菱UFJ国際投信株式会社を委託会社とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託会社として締結された三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンドおよび三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド（「マザーファンド」または「親投資信託」といいます。）の受益証券のほか、次に掲げるものとします。

1. 株券または新株引受権証書
2. 国債証券
3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
6. 資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
9. 資産の流動化に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
10. コマーシャル・ペーパー
11. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）

および新株予約権証券

12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1. から11. の証券または証書の性質を有するもの
 13. 証券投資信託の受益証券
 14. 投資証券もしくは新投資口予約権証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 15. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 16. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
 17. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 19. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 20. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 21. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 22. 外国の者に対する権利で21. の有価証券の性質を有するもの
- なお、1. の証券または証書ならびに12. および17. の証券または証書のうち1. の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、2. から6. までの証券ならびに12. および17. の証券または証書のうち2. から6. までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、13. および14. の証券を以下「投資信託証券」といいます。

③金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）は、次に掲げるものとします。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で5. の権利の性質を有するもの

④その他の投資対象

信託約款に定める次に掲げるもの。

- ・外国為替予約取引

<マザーファンドの概要>

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

(基本方針)

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

(運用方法)

①投資対象

わが国の株式を主要投資対象とします。

②投資態度

TOPIX（東証株価指数）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

銘柄選択にあたっては、以下の2つの観点から行います。

1) 中長期的な成長力の高い銘柄や業績改善度の大きい銘柄を選択

2) 企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択

具体的には、1) 経営者のリーダーシップ、2) 企業戦略の適切さ、3) マーケット支配力・競争力、4) 産業の循環、産業構造の変化等の定性的な要素を踏まえ、中長期的にみて高い利益成長が期待できる銘柄や業績の大幅な改善が見込める銘柄を選択し、株価の妥当性をチェックしたうえで、組み入れを図ります。なお、株価評価は、企業の利益成長率に見合った適正価値が存在するというGARP（Growth at Reasonable Price）の考え方をベースに行います。

また、各種評価尺度（株価収益率、株価キャッシュフロー倍率、株価売上高倍率、株価純資産倍率、配当利回り等）を用いて行う定量的な分析に、定性的な分析を加えた結果、「現在の株価が妥当株価に比して割安に放置されており、かつ今後株価上昇が期待できる」と判断される銘柄についても、適宜組み入れを図ります。

株式の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

- ① 株式への投資に制限を設けません。
- ② 投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- ③ 外貨建資産への投資は行いません。
- ④ 有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。
- ⑤ スワップ取引は信託約款の範囲で行います。
- ⑥ 金利先渡し取引は信託約款の範囲で行います。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

① 投資対象

わが国の公社債を主要投資対象とします。

② 投資態度

わが国の公社債を主要投資対象とします。ただし、事業債、円建外債についてはBBB格（S&P、ムーディーズ、格付投資情報センターおよび日本格付研究所のいずれかから取得したもの）相当以上の格付を有する債券を対象とします。

NOMURA-BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数）をベンチマークとし、これを中長期的に上回ることを目標に運用を行います。

経済や金利の分析をベースに、デュレーション[※]・残存構成・債券種別等をコントロールするアクティブ運用を行います。具体的には、次のプロセスによります。

- 1) 経済分析や市場分析等を踏まえて金利の方向性等を予測し、デュレーションに関する戦略を策定します。
- 2) また、同様の分析を行い金利の期間構造等を予測し、上記のデュレーション戦略を加味して、残存構成に関する戦略を策定します。
- 3) さらに、各債券種別間の利回り較差動向等を予測し、債券種別構成に関する戦略を策定します。
- 4) 以上の戦略を総合して、ポートフォリオを構築します。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

- ① 外貨建資産への投資は行いません。
- ② 有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。
- ③ スワップ取引は信託約款の範囲で行います。
- ④ 金利先渡し取引は信託約款の範囲で行います。

※デュレーションとは、債券の投資元本の回収に要する平均残存期間や金利感応度を意味する指標です。

この値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

① 投資対象

わが国を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。

② 投資態度

MSCI KOKUSAI インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

運用にあたっては、カントリーアロケーションと銘柄選択の双方におけるアクティブ戦略によ

り、超過収益の獲得を目指します。カントリーアロケーションについてはマクロシナリオからのトップダウンアプローチにより決定します。また組入銘柄選択については、企業の成長力と株価を評価することにより決定します。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。

組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

株式の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

- ①株式への投資に制限を設けません。
- ②投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- ③外貨建資産への投資に制限を設けません。
- ④有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。
- ⑤スワップ取引は信託約款の範囲で行います。
- ⑥金利先渡し取引および為替先渡し取引は信託約款の範囲で行います。
- ⑦外国為替予約取引は信託約款の範囲で行います。

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

①投資対象

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。

②投資態度

FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得を目指します。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。

組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

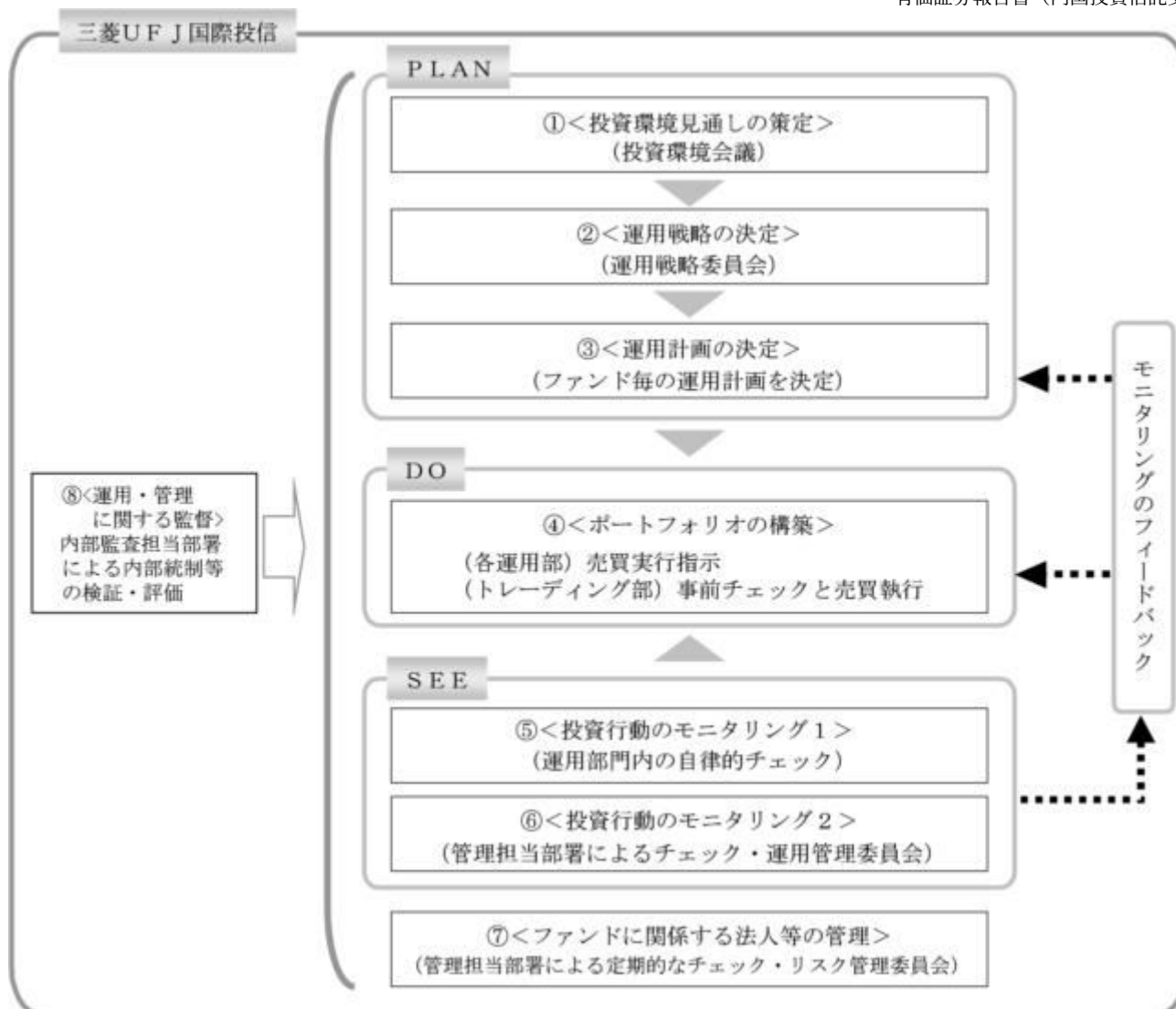
公社債の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

- ①外貨建資産への投資に制限を設けません。
- ②有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。
- ③スワップ取引は信託約款の範囲で行います。
- ④金利先渡し取引および為替先渡し取引は信託約款の範囲で行います。
- ⑤外国為替予約取引は信託約款の範囲で行います。

（3）【運用体制】



①投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

②運用戦略の決定

運用戦略委員会において、①で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

③運用計画の決定

②で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

④ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

⑤投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

⑥投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署（40～60名程度）は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

⑦ファンドに関係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に関係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

⑧運用・管理に関する監督

内部監査担当部署（10名程度）は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

なお、委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

「運用担当者に係る事項」 <https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>

（４）【配分方針】

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ③収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

（５）【投資制限】

<信託約款に定められた投資制限>

三菱UFJ ライフプラン 25

①株式

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額と親投資信託の信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の50を超えることとなる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産純資産総額に占める株式の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

②外貨建資産

- a. 委託会社は信託財産に属する外貨建資産と親投資信託の信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の40を超えることとなる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

三菱UFJ ライフプラン 50

①株式

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額と親投資信託の信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の70以上となる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産純資産総額に占める株式の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

②外貨建資産

- a. 委託会社は信託財産に属する外貨建資産と親投資信託の信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の50を超えることとなる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

三菱UFJ ライフプラン 75

①株式

株式への実質投資割合に制限を設けません。

②外貨建資産

- a. 委託会社は信託財産に属する外貨建資産と親投資信託の信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の60を超えることとなる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

<ファンド共通>

①投資信託証券

- a. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額と親投資信託の信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産純資産総額に占める投資信託証券の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

②スワップ取引

- a. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取り金利または異なった受取り金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- b. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が、当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- d. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

③信用取引

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売り付けの決済については、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- b. a. の信用取引の指図は、当該売り付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、b. の売り付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。

④外国為替予約取引

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- b. a. の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産（親投資信託の信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額を含みます。）の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- c. b. の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
- d. b. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属する親投資信託の受益証券の時価総額に親投資信託の信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

⑤公社債の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めたときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- b. a. の指図は、当該借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、b. の借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

⑥資金の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b. 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。
- c. 収益分配金の再投資に係る借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

⑦投資する株式等の範囲

- a. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券についてはこの限りではありません。
- b. a. の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図することができるものとします。

⑧金利先渡取引および為替先渡取引

- a. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- b. 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が、当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- d. 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

⑨有価証券の貸付

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。
 - 1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- b. a. に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- c. 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

⑩公社債の空売り

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売り付けの決

済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。

- b. a. の売り付けの指図は、当該売り付けに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、b. の売り付けに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。

⑪特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

⑫デリバティブ取引等

デリバティブ取引等（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号に定めるデリバティブ取引をいう。）については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないこととします。

⑬信用リスクの分散規制

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

<その他法令等に定められた投資制限>

・同一の法人の発行する株式への投資制限

委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権の総数が当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しないものとします。

3【投資リスク】

（1）投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

①価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け株式や公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

②為替変動リスク

実質的な主要投資対象である海外の株式や公社債は外貨建資産であり、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

③信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

④流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式や公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

※留意事項

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的に開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

①トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

②コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

③リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

④内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

<流動性リスクに対する管理体制>

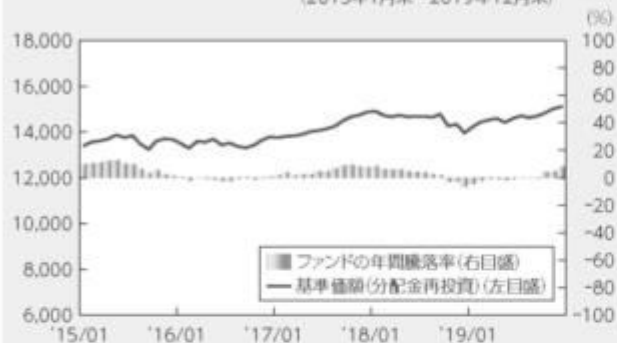
流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

※組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

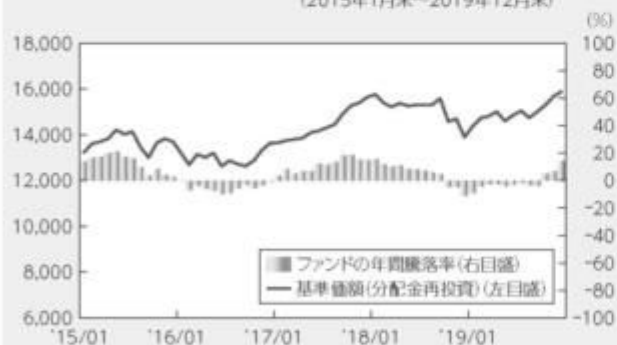
下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

三菱UFJ ライフプラン 25

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移
(2015年1月末～2019年12月末)● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
(2015年1月末～2019年12月末)

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

三菱UFJ ライフプラン 50

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移
(2015年1月末～2019年12月末)● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
(2015年1月末～2019年12月末)

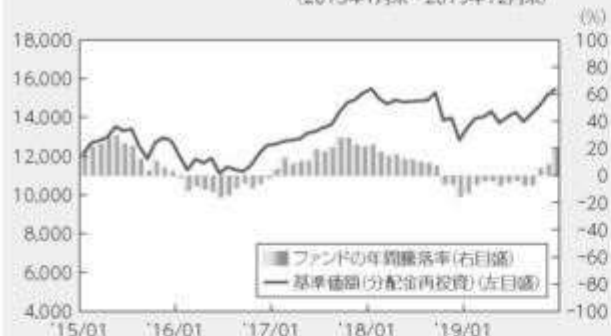
- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

三菱UFJ ライフプラン 75

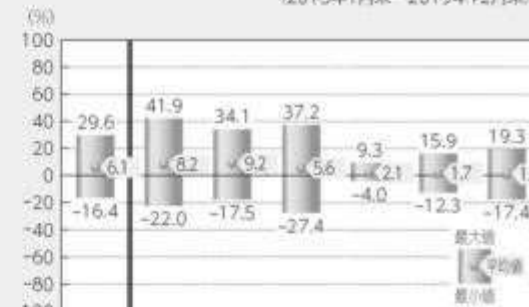
● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

(2015年1月末～2019年12月末)



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年1月末～2019年12月末)



ファンド 日本株 先進国株 新興国株 日本国債 先進国債 新興国債
(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の動向を表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(国債)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セクレティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セクレティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込価額(発行価格)×2.2%(税抜 2%)を上限として販売会社が定める手数料率

申込手数料は販売会社にご確認ください。

申込みには分配金受取コース(一般コース)と分配金再投資コース(累積投資コース)があり、分配金再投資コース(累積投資コース)の場合、再投資される収益分配金については、申込手数

料はかかりません。

確定拠出年金制度を利用する場合の取得申込みについては、申込手数料はかかりません。

「三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５」、「三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０」または「三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５」のいずれかのファンドを解約した受取金額をもって他のいずれかのファンドの取得申込みを行う場合（「スイッチング」といいます。）、申込手数料はかかりません。

※申込手数料の対価として提供する役務の内容は、ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等です。

（２）【換金（解約）手数料】

かかりません。

※換金（解約）手数料の対価として提供する役務の内容は、商品の換金に関する事務手続等です。

（３）【信託報酬等】

「三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年0.99%（税抜0.9%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）

※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期間の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.37%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.45%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.08%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

※上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

「三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.21%（税抜1.1%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）

※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期間の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.47%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.55%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.08%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

※上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

「三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.43%（税抜1.3%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）

※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期間の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.57%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.65%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.08%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

※上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

（４）【その他の手数料等】

- ・信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入を行う場合の借入金の利息および借入れに関する品借料は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
- ・信託財産に係る監査費用（消費税等相当額を含みます。）は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に一定率を乗じて得た額とし、信託財産中から支弁します。支弁時期は信託報酬と同様です。
- ・信託財産（投資している投資信託を含みます。）の組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等（消費税等相当額を含みます。）、先物取引・オプション取引等に要する費用および外貨建資産の保管等に要する費用についても信託財産が負担するものとします。

※売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

（注）手数料等については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

①個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税５%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５は、配当控除は適用されません。三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０、三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５は、配当控除の適用があります。）・申告分離課税を選択することも

できます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

②法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

（※）確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

※分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

◇個別元本について

- ①受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
- ②受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。
- ③受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

◇収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、①当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、②当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

※上記は2019年12月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更にな

なることがあります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【三菱UFJ ライフプラン 25】

（１）【投資状況】

令和 1年12月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	967,186,047	93.94
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	62,408,445	6.06
純資産総額		1,029,594,492	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和 1年12月30日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内債券アクティブマ ザーファンド	402,835,234	1.4777	595,270,206	1.4779	595,350,192	57.82
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内株式アクティブマ ザーファンド	112,569,716	1.5141	170,441,807	1.5212	171,241,051	16.63
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 海外株式アクティブマ ザーファンド	52,821,491	2.2054	116,492,923	2.2710	119,957,606	11.65
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 海外債券アクティブマ ザーファンド	26,253,361	3.0674	80,530,585	3.0715	80,637,198	7.83

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	93.94
合計	93.94

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和1年12月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第11計算期間末日（平成22年12月15日）	451,488,653	451,488,653	9,906	9,906
第12計算期間末日（平成23年12月15日）	488,285,014	488,285,014	9,559	9,559
第13計算期間末日（平成24年12月17日）	548,553,943	548,553,943	10,266	10,266
第14計算期間末日（平成25年12月16日）	650,155,959	650,155,959	11,885	11,885
第15計算期間末日（平成26年12月15日）	751,077,540	751,077,540	13,046	13,046
第16計算期間末日（平成27年12月15日）	764,902,000	764,902,000	13,309	13,309
第17計算期間末日（平成28年12月15日）	835,029,595	835,029,595	13,562	13,562
第18計算期間末日（平成29年12月15日）	918,471,686	918,471,686	14,506	14,506
第19計算期間末日（平成30年12月17日）	928,915,306	928,915,306	13,933	13,933
第20計算期間末日（令和 1年12月16日）	1,027,083,871	1,027,083,871	14,782	14,782
平成30年12月末日	915,684,491	—	13,712	—
平成31年 1月末日	937,590,640	—	13,974	—
2月末日	949,244,281	—	14,175	—
3月末日	957,092,332	—	14,266	—
4月末日	965,911,339	—	14,332	—
令和 1年 5月末日	958,904,770	—	14,159	—
6月末日	973,108,641	—	14,337	—
7月末日	987,099,129	—	14,446	—
8月末日	986,361,415	—	14,366	—
9月末日	990,439,847	—	14,436	—
10月末日	1,004,741,845	—	14,575	—
11月末日	1,023,710,045	—	14,749	—
12月末日	1,029,594,492	—	14,842	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
--	------------

第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円
第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円
第18計算期間	0円
第19計算期間	0円
第20計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第11計算期間	1.15
第12計算期間	△3.50
第13計算期間	7.39
第14計算期間	15.77
第15計算期間	9.76
第16計算期間	2.01
第17計算期間	1.90
第18計算期間	6.96
第19計算期間	△3.95
第20計算期間	6.09

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第11計算期間	63,013,092	48,256,257	455,757,440
第12計算期間	98,041,622	42,970,125	510,828,937
第13計算期間	55,331,961	31,820,070	534,340,828
第14計算期間	60,196,116	47,520,312	547,016,632
第15計算期間	86,533,582	57,831,687	575,718,527
第16計算期間	73,906,398	74,888,442	574,736,483
第17計算期間	81,196,235	40,223,455	615,709,263
第18計算期間	78,615,817	61,159,390	633,165,690
第19計算期間	76,870,591	43,339,881	666,696,400
第20計算期間	77,943,201	49,811,285	694,828,316

【三菱UFJ ライフプラン 50】

（１）【投資状況】

令和 1年12月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,948,594,181	94.12
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	121,744,827	5.88
純資産総額		2,070,339,008	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

令和 1年12月30日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内債券アクティブマ ザーファンド	459,906,489	1.4777	679,605,252	1.4779	679,695,800	32.83
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内株式アクティブマ ザーファンド	431,175,497	1.5142	652,886,219	1.5212	655,904,166	31.68
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 海外株式アクティブマ ザーファンド	198,489,325	2.2054	437,750,103	2.2710	450,769,257	21.77
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 海外債券アクティブマ ザーファンド	52,816,200	3.0674	162,012,251	3.0715	162,224,958	7.84

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	94.12
合計	94.12

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和1年12月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第11計算期間末日（平成22年12月15日）	807,302,229	807,302,229	8,624	8,624
第12計算期間末日（平成23年12月15日）	843,119,484	843,119,484	7,891	7,891
第13計算期間末日（平成24年12月17日）	980,664,482	980,664,482	8,801	8,801
第14計算期間末日（平成25年12月16日）	1,256,938,660	1,256,938,660	11,296	11,296
第15計算期間末日（平成26年12月15日）	1,520,580,361	1,520,580,361	12,851	12,851
第16計算期間末日（平成27年12月15日）	1,593,017,988	1,593,017,988	13,259	13,259
第17計算期間末日（平成28年12月15日）	1,676,268,103	1,676,268,103	13,452	13,452
第18計算期間末日（平成29年12月15日）	1,896,943,139	1,896,943,139	15,165	15,165
第19計算期間末日（平成30年12月17日）	1,829,309,871	1,829,309,871	14,097	14,097
第20計算期間末日（令和 1年12月16日）	2,057,419,945	2,057,419,945	15,492	15,492
平成30年12月末日	1,762,712,165	—	13,648	—
平成31年 1月末日	1,827,548,046	—	14,109	—
2月末日	1,870,527,153	—	14,470	—
3月末日	1,889,713,371	—	14,553	—
4月末日	1,898,043,987	—	14,739	—
令和 1年 5月末日	1,859,179,948	—	14,340	—
6月末日	1,895,885,666	—	14,592	—
7月末日	1,934,517,349	—	14,783	—
8月末日	1,897,311,490	—	14,485	—
9月末日	1,936,393,618	—	14,741	—
10月末日	1,993,128,467	—	15,034	—
11月末日	2,044,745,649	—	15,401	—
12月末日	2,070,339,008	—	15,610	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円

第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円
第18計算期間	0円
第19計算期間	0円
第20計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第11計算期間	1.75
第12計算期間	△8.49
第13計算期間	11.53
第14計算期間	28.34
第15計算期間	13.76
第16計算期間	3.17
第17計算期間	1.45
第18計算期間	12.73
第19計算期間	△7.04
第20計算期間	9.89

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第11計算期間	137,967,797	86,750,998	936,067,999
第12計算期間	215,513,831	83,102,807	1,068,479,023
第13計算期間	127,683,830	81,935,910	1,114,226,943
第14計算期間	125,684,610	127,157,493	1,112,754,060
第15計算期間	165,449,423	94,929,735	1,183,273,748
第16計算期間	150,327,109	132,182,173	1,201,418,684
第17計算期間	118,601,677	73,908,420	1,246,111,941
第18計算期間	135,511,363	130,777,678	1,250,845,626
第19計算期間	140,018,340	93,198,364	1,297,665,602
第20計算期間	134,778,765	104,412,102	1,328,032,265

【三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５】

（１）【投資状況】

令和 1年12月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,363,690,561	93.96
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	87,692,439	6.04
純資産総額		1,451,383,000	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

令和 1年12月30日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマ ザーファンド	444,133,243	1.5141	672,462,144	1.5212	675,615,489	46.55
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマ ザーファンド	203,060,680	2.2054	447,830,024	2.2710	461,150,804	31.77
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマ ザーファンド	125,904,898	1.4776	186,038,079	1.4779	186,074,848	12.82
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマ ザーファンド	13,299,502	3.0652	40,765,993	3.0715	40,849,420	2.81

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	93.96
合計	93.96

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和1年12月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第11計算期間末日（平成22年12月15日）	564,048,310	564,048,310	7,239	7,239
第12計算期間末日（平成23年12月15日）	550,104,796	550,104,796	6,285	6,285
第13計算期間末日（平成24年12月17日）	659,860,468	659,860,468	7,226	7,226
第14計算期間末日（平成25年12月16日）	912,295,374	912,295,374	10,148	10,148
第15計算期間末日（平成26年12月15日）	1,042,675,169	1,042,675,169	11,862	11,862
第16計算期間末日（平成27年12月15日）	1,070,858,291	1,070,858,291	12,378	12,378
第17計算期間末日（平成28年12月15日）	1,125,011,772	1,125,011,772	12,524	12,524
第18計算期間末日（平成29年12月15日）	1,378,580,412	1,378,580,412	14,844	14,844
第19計算期間末日（平成30年12月17日）	1,275,531,412	1,275,531,412	13,353	13,353
第20計算期間末日（令和 1年12月16日）	1,441,755,109	1,441,755,109	15,149	15,149
平成30年12月末日	1,213,344,042	—	12,719	—
平成31年 1月末日	1,277,587,958	—	13,340	—
2月末日	1,321,613,874	—	13,823	—
3月末日	1,331,585,056	—	13,888	—
4月末日	1,359,523,350	—	14,178	—
令和 1年 5月末日	1,299,167,960	—	13,591	—
6月末日	1,327,191,679	—	13,892	—
7月末日	1,347,827,730	—	14,146	—
8月末日	1,308,143,833	—	13,661	—
9月末日	1,332,356,821	—	14,064	—
10月末日	1,391,705,470	—	14,477	—
11月末日	1,445,559,818	—	15,010	—
12月末日	1,451,383,000	—	15,317	—

②【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円
第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円

第18計算期間	0円
第19計算期間	0円
第20計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率（％）
第11計算期間	2.53
第12計算期間	△13.17
第13計算期間	14.97
第14計算期間	40.43
第15計算期間	16.89
第16計算期間	4.35
第17計算期間	1.17
第18計算期間	18.52
第19計算期間	△10.04
第20計算期間	13.45

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第11計算期間	134,295,314	83,312,618	779,141,088
第12計算期間	184,221,673	88,106,573	875,256,188
第13計算期間	108,727,813	70,746,071	913,237,930
第14計算期間	157,727,213	171,967,761	898,997,382
第15計算期間	148,588,985	168,612,635	878,973,732
第16計算期間	153,807,371	167,660,227	865,120,876
第17計算期間	125,633,507	92,437,316	898,317,067
第18計算期間	128,588,851	98,206,804	928,699,114
第19計算期間	134,155,469	107,645,897	955,208,686
第20計算期間	116,170,798	119,647,961	951,731,523

（参考）

三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド

投資状況

令和 1年12月30日現在

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	8,305,802,920	98.49
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	127,200,301	1.51
純資産総額		8,433,003,221	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

令和 1年12月30日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	第一三共	医薬品	37,600	5,504.49	206,968,824	7,228.00	271,772,800	3.22
日本	株式	リコー	電気機器	205,800	1,095.60	225,474,847	1,192.00	245,313,600	2.91
日本	株式	ソニー	電気機器	31,800	5,064.90	161,063,820	7,401.00	235,351,800	2.79
日本	株式	日立製作所	電気機器	50,700	3,528.58	178,899,006	4,626.00	234,538,200	2.78
日本	株式	スシログローバルホールディングス	小売業	24,500	6,668.91	163,388,295	9,370.00	229,565,000	2.72
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	49,900	4,355.56	217,342,646	4,332.00	216,166,800	2.56
日本	株式	三菱ロジスネクスト	輸送用機器	137,900	1,216.21	167,716,055	1,390.00	191,681,000	2.27
日本	株式	アイティメディア	サービス業	240,200	726.19	174,431,688	797.00	191,439,400	2.27
日本	株式	ウシオ電機	電気機器	112,700	1,330.82	149,983,414	1,624.00	183,024,800	2.17
日本	株式	ネクステージ	小売業	140,100	1,150.40	161,171,040	1,285.00	180,028,500	2.13
日本	株式	シャープ	電気機器	102,600	1,185.22	121,603,572	1,685.00	172,881,000	2.05
日本	株式	富士通	電気機器	15,900	7,743.56	123,122,604	10,270.00	163,293,000	1.94
日本	株式	フィールズ	卸売業	223,300	498.42	111,297,186	650.00	145,145,000	1.72
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	237,800	558.22	132,744,716	593.20	141,062,960	1.67
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	34,700	3,907.82	135,601,354	4,038.00	140,118,600	1.66
日本	株式	日立建機	機械	42,100	2,739.80	115,345,854	3,285.00	138,298,500	1.64
日本	株式	セイコーホールディングス	精密機器	46,800	2,248.22	105,216,696	2,923.00	136,796,400	1.62
日本	株式	東京建物	不動産業	79,800	1,600.76	127,741,272	1,709.00	136,378,200	1.62
日本	株式	三菱商事	卸売業	47,000	3,054.94	143,582,180	2,900.00	136,300,000	1.62
日本	株式	任天堂	その他製品	2,900	33,830.81	98,109,349	43,970.00	127,513,000	1.51
日本	株式	日本農薬	化学	210,000	588.18	123,519,440	581.00	122,010,000	1.45
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	39,100	2,915.78	114,007,054	3,099.00	121,170,900	1.44
日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	82,200	1,453.95	119,514,926	1,459.50	119,970,900	1.42
日本	株式	りそなホールディングス	銀行業	247,300	489.52	121,058,296	479.00	118,456,700	1.40
日本	株式	コカ・コーラ ボトラーズ ジャパンホールデ	食料品	41,200	2,435.96	100,361,741	2,791.00	114,989,200	1.36

日本	株式	神戸製鋼所	鉄鋼	190,700	621.77	118,573,227	589.00	112,322,300	1.33
日本	株式	イビデン	電気機器	43,100	1,536.21	66,210,651	2,605.00	112,275,500	1.33
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	13,900	6,680.21	92,854,919	7,714.00	107,224,600	1.27
日本	株式	鳥貴族	小売業	44,600	1,883.30	83,995,180	2,404.00	107,218,400	1.27
日本	株式	高島屋	小売業	86,700	1,311.28	113,688,320	1,228.00	106,467,600	1.26

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	鉱業	0.98
	建設業	2.51
	食料品	4.73
	繊維製品	1.00
	化学	4.75
	医薬品	6.47
	鉄鋼	2.42
	非鉄金属	0.83
	機械	2.66
	電気機器	15.97
	輸送用機器	7.73
	精密機器	1.62
	その他製品	1.54
	電気・ガス業	0.93
	陸運業	2.49
	空運業	0.55
	倉庫・運輸関連業	0.74
	情報・通信業	5.86
	卸売業	5.48
	小売業	9.53
	銀行業	4.74
	証券、商品先物取引業	1.15
	保険業	3.19
	その他金融業	1.03
	不動産業	1.62
	サービス業	8.00
	小計	98.49
合計		98.49

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

投資状況

令和 1年12月30日現在
(単位：円)

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	日本	6,087,180,900	57.04
特殊債券	日本	99,992,000	0.94
社債券	日本	4,206,100,000	39.42
	スイス	100,206,000	0.94
	小計	4,306,306,000	40.35
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	177,814,223	1.67
純資産総額		10,671,293,123	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

令和 1年12月30日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
日本	国債証券	第354回利付国債 (10年)	300,000,000	101.98	305,955,400	101.33	304,017,000	0.100000	2029/3/20	2.85
日本	社債券	第28回三菱東京UFJ銀行（劣後特約付）	200,000,000	102.76	205,522,000	101.53	203,078,000	1.560000	2021/1/20	1.90
日本	社債券	第10回ビー・ピー・シー・イー・エス・エー	200,000,000	100.39	200,788,000	100.15	200,308,000	0.473000	2020/7/9	1.88
日本	社債券	第15回パナソニック	200,000,000	100.24	200,486,000	100.14	200,294,000	0.190000	2021/9/17	1.88
日本	社債券	第3回マラヤン・バンキング（2019）	200,000,000	100.00	200,000,000	99.90	199,806,000	0.270000	2022/5/20	1.87
日本	社債券	第19回ルノー	200,000,000	99.53	199,060,000	99.83	199,664,000	0.360000	2020/7/6	1.87

日本	国債証券	第１６６回利付国債 （２０年）	170,000,000	106.28	180,687,000	108.13	183,832,900	0.700000	2038/9/20	1.72
日本	国債証券	第１４１回利付国債 （５年）	170,000,000	101.03	171,762,200	101.08	171,849,600	0.100000	2024/9/20	1.61
日本	国債証券	第５８回利付国債 （３０年）	140,000,000	106.29	148,806,000	110.83	155,173,200	0.800000	2048/3/20	1.45
日本	国債証券	第１４１回利付国債 （２０年）	110,000,000	121.26	133,386,500	120.92	133,016,400	1.700000	2032/12/20	1.25
日本	国債証券	第３４７回利付国債 （１０年）	130,000,000	101.65	132,147,600	101.57	132,050,100	0.100000	2027/6/20	1.24
日本	国債証券	第９９回利付国債 （２０年）	110,000,000	119.45	131,395,000	117.59	129,349,000	2.100000	2027/12/20	1.21
日本	国債証券	第１６２回利付国債 （２０年）	120,000,000	105.34	126,419,500	106.47	127,770,000	0.600000	2037/9/20	1.20
日本	国債証券	第１５４回利付国債 （２０年）	110,000,000	115.82	127,402,200	116.10	127,719,900	1.200000	2035/9/20	1.20
日本	国債証券	第１５２回利付国債 （２０年）	100,000,000	114.84	114,848,200	115.77	115,776,000	1.200000	2035/3/20	1.08
日本	国債証券	第１５８回利付国債 （２０年）	110,000,000	103.80	114,187,800	105.01	115,519,800	0.500000	2036/9/20	1.08
日本	国債証券	第５４回利付国債 （３０年）	100,000,000	106.08	106,081,000	110.90	110,900,000	0.800000	2047/3/20	1.04
日本	国債証券	第１４６回利付国債 （２０年）	90,000,000	122.20	109,988,100	121.79	109,614,600	1.700000	2033/9/20	1.03
日本	国債証券	第３６回利付国債 （３０年）	80,000,000	133.49	106,793,100	136.23	108,987,200	2.000000	2042/3/20	1.02
日本	国債証券	第１４７回利付国債 （２０年）	90,000,000	120.65	108,590,600	120.64	108,577,800	1.600000	2033/12/20	1.02
日本	国債証券	第１４９回利付国債 （２０年）	90,000,000	120.31	108,279,100	119.68	107,719,200	1.500000	2034/6/20	1.01
日本	国債証券	第１５０回利付国債 （２０年）	90,000,000	118.55	106,697,600	118.49	106,644,600	1.400000	2034/9/20	1.00
日本	国債証券	第５回利付国債（４ ０年）	70,000,000	141.34	98,938,900	147.74	103,423,600	2.000000	2052/3/20	0.97
日本	国債証券	第３５０回利付国債 （１０年）	100,000,000	101.74	101,743,400	101.56	101,569,000	0.100000	2028/3/20	0.95
日本	国債証券	第３４６回利付国債 （１０年）	100,000,000	101.88	101,880,000	101.52	101,524,000	0.100000	2027/3/20	0.95
日本	社債券	第１７回シティグ ループ	100,000,000	102.78	102,786,000	101.32	101,327,000	2.040000	2020/9/16	0.95
日本	社債券	第１回パークレイ ズ・ビーエルシー期 限前償還条項付	100,000,000	99.56	99,566,000	101.01	101,019,000	1.232000	2024/9/25	0.95
日本	社債券	第３回ソシエテ ジェネラル円貨社債 （２０１８）	100,000,000	99.40	99,404,000	100.97	100,974,000	0.804000	2023/10/12	0.95
日本	社債券	第２回東京電力パ ワーグリッド	100,000,000	100.55	100,559,000	100.87	100,876,000	0.580000	2022/3/9	0.95
日本	社債券	第２７回東京電力パ ワーグリッド	100,000,000	100.00	100,000,000	100.67	100,677,000	0.600000	2024/7/10	0.94

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	57.04
特殊債券	0.94
社債券	40.35

合計	98.33
----	-------

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

投資状況

令和 1年12月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	アメリカ	3,020,532,764	70.63
	フランス	179,460,585	4.20
	イギリス	158,860,408	3.71
	香港	129,597,081	3.03
	ドイツ	118,143,667	2.76
	オランダ	93,598,392	2.19
	オーストラリア	85,856,780	2.01
	スイス	84,617,478	1.98
	フィンランド	64,531,436	1.51
	スウェーデン	49,149,899	1.15
	ノルウェー	40,728,244	0.95
	ベルギー	35,155,256	0.82
	デンマーク	28,028,759	0.66
	カナダ	27,367,154	0.64
	スペイン	24,047,691	0.56
	小計	4,139,675,594	96.79
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	137,090,661	3.21
純資産総額		4,276,766,255	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

令和 1年12月30日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	969	192,928.58	186,947,800	204,855.28	198,504,774	4.64
アメリカ	株式	SALESFORCE.COM INC	ソフトウェア・サービス	7,433	17,653.40	131,217,743	18,075.20	134,353,027	3.14
アメリカ	株式	COSTAR GROUP INC	商業・専門サービス	1,968	63,606.15	125,176,910	65,581.52	129,064,432	3.02
アメリカ	株式	VMWARE INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	7,150	16,576.42	118,521,461	16,889.76	120,761,853	2.82
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6,498	16,930.30	110,013,134	17,415.65	113,166,943	2.65
アメリカ	株式	ZOETIS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7,686	13,634.74	104,796,627	14,598.87	112,206,915	2.62
アメリカ	株式	ROPER TECHNOLOGIES INC	資本財	2,794	38,400.78	107,291,780	39,145.78	109,373,332	2.56
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	738	147,668.25	108,979,172	148,113.06	109,307,444	2.56
アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	5,178	20,283.93	105,030,233	20,749.56	107,441,265	2.51
アメリカ	株式	S&P GLOBAL INC	各種金融	3,295	29,712.67	97,903,254	30,051.21	99,018,745	2.32
アメリカ	株式	AUTODESK INC	ソフトウェア・サービス	4,846	19,656.15	95,253,749	20,310.23	98,423,388	2.30
アメリカ	株式	SBA COMMUNICATIONS CORP	不動産	3,538	25,799.18	91,277,530	26,448.87	93,576,136	2.19
アメリカ	株式	VULCAN MATERIALS CO	素材	5,906	15,667.07	92,529,774	15,764.58	93,105,659	2.18
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2,811	30,145.43	84,738,815	31,750.48	89,250,622	2.09
アメリカ	株式	PAYPAL HOLDINGS INC	ソフトウェア・サービス	7,238	11,794.13	85,365,942	11,985.86	86,753,684	2.03
アメリカ	株式	SEMPRA ENERGY	公益事業	5,032	16,300.33	82,023,295	16,529.31	83,175,524	1.94
アメリカ	株式	TESLA INC	自動車・自動車部品	1,703	39,265.20	66,868,650	47,152.43	80,300,593	1.88
アメリカ	株式	DR HORTON INC	耐久消費財・アパレル	13,820	6,004.98	82,988,874	5,796.81	80,112,047	1.87
アメリカ	株式	CADENCE DESIGN SYS INC	ソフトウェア・サービス	10,143	7,441.31	75,477,260	7,700.97	78,110,963	1.83
アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネルギー	5,912	12,923.69	76,404,900	13,180.06	77,920,562	1.82
アメリカ	株式	INTUITIVE SURGICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	1,140	63,506.45	72,397,357	65,503.73	74,674,255	1.75
アメリカ	株式	CATERPILLAR INC	資本財	4,413	15,944.26	70,362,049	16,245.55	71,691,642	1.68
アメリカ	株式	FORTIVE CORP	資本財	8,110	8,237.81	66,808,691	8,390.10	68,043,750	1.59
アメリカ	株式	PROGRESSIVE CORP	保険	8,256	7,906.94	65,279,740	7,904.75	65,261,649	1.53
オーストラリア	株式	BHP GROUP LTD	素材	20,966	3,011.06	63,129,926	3,033.25	63,595,178	1.49
香港	株式	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	11,600	5,079.27	58,919,532	5,402.88	62,673,408	1.47
アメリカ	株式	HEICO CORP-CLASS A	資本財	6,330	10,627.31	67,270,935	9,885.59	62,575,840	1.46

アメリカ	株式	CITIGROUP INC	銀行	7,042	8,369.28	58,936,529	8,728.64	61,467,120	1.44
アメリカ	株式	T-MOBILE US INC	電気通信サービス	6,699	8,268.49	55,390,636	8,462.41	56,689,714	1.33
アメリカ	株式	CITIZENS FINANCIAL GROUP	銀行	12,221	4,395.54	53,717,982	4,434.98	54,199,998	1.27

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	エネルギー	2.95
	素材	6.01
	資本財	9.40
	商業・専門サービス	3.02
	運輸	0.41
	自動車・自動車部品	2.92
	耐久消費財・アパレル	3.35
	消費者サービス	0.52
	メディア・娯楽	6.01
	小売	7.04
	食品・生活必需品小売り	2.30
	食品・飲料・タバコ	1.16
	家庭用品・パーソナル用品	1.06
	ヘルスケア機器・サービス	2.99
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.92
	銀行	4.17
	各種金融	3.06
	保険	3.52
	不動産	2.59
	ソフトウェア・サービス	19.06
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.08
	電気通信サービス	1.77
	公益事業	2.33
	半導体・半導体製造装置	1.15
小計		96.79
合計		96.79

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

投資状況

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	17,328,734,576	38.81
	スペイン	5,836,077,051	13.07
	イタリア	4,125,844,649	9.24
	フランス	3,622,421,997	8.11
	イギリス	3,015,002,970	6.75
	メキシコ	1,507,451,295	3.38
	ドイツ	1,362,523,976	3.05
	ノルウェー	1,264,309,394	2.83
	ベルギー	1,032,684,602	2.31
	オーストラリア	882,217,431	1.98
	アイルランド	336,231,685	0.75
	マレーシア	291,983,187	0.65
	ポーランド	250,353,109	0.56
	シンガポール	155,476,532	0.35
	カナダ	155,162,154	0.35
	オランダ	131,915,535	0.30
	スウェーデン	119,063,344	0.27
	南アフリカ	6,671,056	0.01
	小計	41,424,124,543	92.78
特殊債券	アメリカ	546,621,682	1.22
社債券	フランス	628,905,915	1.41
	アメリカ	456,407,502	1.02
	小計	1,085,313,417	2.43
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	1,591,900,649	3.57
純資産総額		44,647,960,291	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a評価額上位30銘柄

令和 1年12月30日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 240215	26,000,000	11,434.46	2,972,961,957	11,426.76	2,970,959,063	2.750000	2024/2/15	6.65
スペイン	国債証券	1.95 SPAIN GOVT 260430	18,000,000	13,712.49	2,468,249,206	13,705.07	2,466,914,304	1.950000	2026/4/30	5.53
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 221031	20,000,000	11,072.40	2,214,481,500	11,073.26	2,214,652,688	2.000000	2022/10/31	4.96
イタリア	国債証券	1.85 ITALY GOVT 240515	16,000,000	13,024.99	2,083,999,547	12,990.90	2,078,545,047	1.850000	2024/5/15	4.66
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 250815	17,000,000	11,122.90	1,890,894,327	11,111.78	1,889,002,706	2.000000	2025/8/15	4.23
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 210430	17,000,000	11,044.58	1,877,580,219	11,048.86	1,878,307,766	2.250000	2021/4/30	4.21
アメリカ	国債証券	2.625 T-NOTE 290215	16,100,000	11,707.51	1,884,909,613	11,655.30	1,876,503,451	2.625000	2029/2/15	4.20
アメリカ	国債証券	1.75 T-NOTE 230515	14,000,000	10,998.79	1,539,831,562	10,998.79	1,539,831,562	1.750000	2023/5/15	3.45
スペイン	国債証券	2.35 SPAIN GOVT 330730	9,000,000	14,910.00	1,341,900,493	14,930.49	1,343,744,475	2.350000	2033/7/30	3.01
フランス	国債証券	0 O.A.T 230325	10,000,000	12,490.89	1,249,089,433	12,482.88	1,248,288,021	0.000000	2023/3/25	2.80
フランス	国債証券	0.75 O.A.T 281125	9,000,000	13,113.98	1,180,258,715	13,113.00	1,180,170,486	0.750000	2028/11/25	2.64
イギリス	国債証券	0.875 GILT 291022	7,100,000	14,468.52	1,027,265,147	14,510.24	1,030,227,550	0.875000	2029/10/22	2.31
アメリカ	国債証券	3.875 T-BOND 400815	7,000,000	14,101.57	987,109,921	13,964.62	977,523,421	3.875000	2040/8/15	2.19
イギリス	国債証券	4.25 GILT 320607	4,500,000	19,949.45	897,725,664	19,981.22	899,155,155	4.250000	2032/6/7	2.01
アメリカ	国債証券	1.625 T-NOTE 260215	8,000,000	10,891.80	871,344,375	10,872.11	869,769,450	1.625000	2026/2/15	1.95
スペイン	国債証券	5.9 SPAIN GOVT 260730	5,000,000	16,925.62	846,281,459	16,905.22	845,261,375	5.900000	2026/7/30	1.89
ドイツ	国債証券	0.25 BUND 280815	6,500,000	12,926.10	840,196,981	12,879.90	837,193,979	0.250000	2028/8/15	1.88
アメリカ	国債証券	2.875 T-BOND 490515	6,700,000	12,416.00	831,872,389	12,274.14	822,367,630	2.875000	2049/5/15	1.84
イギリス	国債証券	4.25 GILT 551207	3,000,000	27,159.78	814,793,650	27,213.81	816,414,343	4.250000	2055/12/7	1.83
アメリカ	国債証券	4.75 T-BOND 410215	5,000,000	15,774.92	788,746,407	15,629.41	781,470,938	4.750000	2041/2/15	1.75
ベルギー	国債証券	0.9 BEL GOVT 290622	5,800,000	13,330.94	773,194,682	13,275.57	769,983,595	0.900000	2029/6/22	1.72
スペイン	国債証券	1.45 SPAIN GOVT 271031	5,000,000	13,410.65	670,532,753	13,420.24	671,012,313	1.450000	2027/10/31	1.50
メキシコ	国債証券	7.5 MEXICAN BONOS 270603	110,000,000	605.62	666,192,120	605.07	665,577,528	7.500000	2027/6/3	1.49
オーストラリア	国債証券	2.25 AUST GOVT 280521	8,000,000	8,292.10	663,368,714	8,255.78	660,462,607	2.250000	2028/5/21	1.48
フランス	国債証券	2 O.A.T 480525	4,000,000	16,270.15	650,806,019	16,007.40	640,296,008	2.000000	2048/5/25	1.43
フランス	社債券	2.25 BNP PARIBAS 210113	5,000,000	12,588.52	629,426,097	12,578.11	628,905,915	2.250000	2021/1/13	1.41
アメリカ	国債証券	4.5 T-BOND 360215	4,000,000	14,765.77	590,631,113	14,651.08	586,043,288	4.500000	2036/2/15	1.31
フランス	国債証券	1.25 O.A.T 360525	4,000,000	13,972.41	558,896,607	13,841.68	553,667,482	1.250000	2036/5/25	1.24
メキシコ	国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	100,000,000	553.12	553,121,160	552.03	552,032,820	5.750000	2026/3/5	1.24
アメリカ	特殊債券	1.625 BK NEDERLAN 210419	5,000,000	10,932.99	546,649,620	10,932.43	546,621,682	1.625000	2021/4/19	1.22

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 1年12月30日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	92.78
特殊債券	1.22
社債券	2.43
合計	96.43

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

《参考情報》

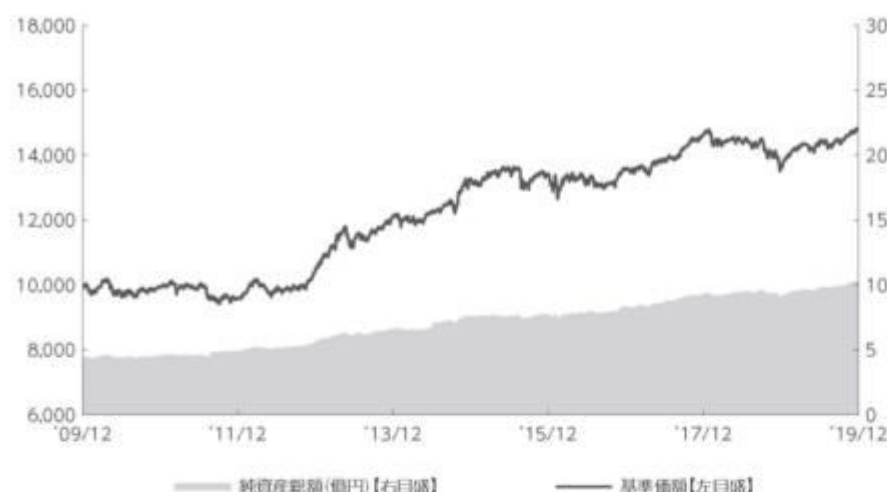


運用実績

2019年12月30日現在

三菱UFJ ライフプラン 25

■基準価額・純資産の推移 2009年12月30日～2019年12月30日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	14,842円
純資産総額	10.2億円

■分配の推移

2019年12月	0円
2018年12月	0円
2017年12月	0円
2016年12月	0円
2015年12月	0円
2014年12月	0円
設定来累計	200円

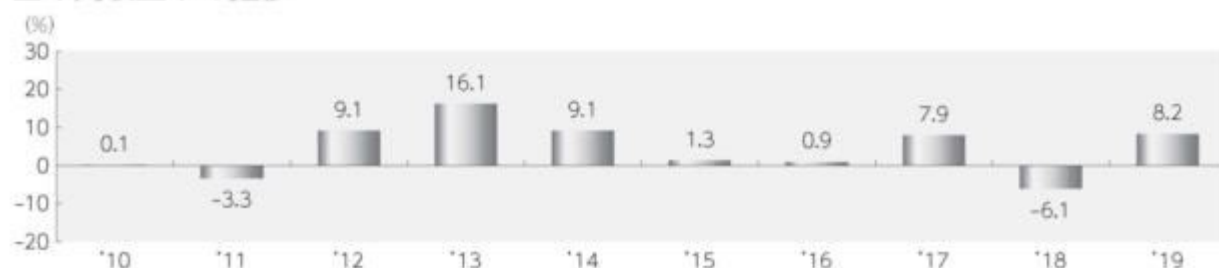
・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	16.4%	1 円	80.6%	AMAZON.COM INC	株式	小売	アメリカ	0.5%
国内債券	56.9%	2 アメリカドル	11.8%	第一三共	株式	医薬品	日本	0.5%
外国株式	11.3%	3 ユーロ	4.5%	リコー	株式	電気機器	日本	0.5%
外国債券	7.6%	4 イギリスポンド	1.0%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.5%
		5 オーストラリアドル	0.4%	日立製作所	株式	電気機器	日本	0.5%
		6 香港ドル	0.4%	第354回利付国債(10年)	債券	国債	日本	1.6%
		7 ノルウェークローネ	0.3%	第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	社債	日本	1.1%
		8 メキシコペソ	0.3%	第10回ピーピーシーイーエスエー	債券	社債	日本	1.1%
コールローン他 (負債控除後)	7.8%	9 スイスフラン	0.2%	第15回パナソニック	債券	社債	日本	1.1%
合計	100.0%	10 スウェーデンクローネ	0.2%	第3回マヤサンパバンク(2019)	債券	社債	日本	1.1%

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- ・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- ・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

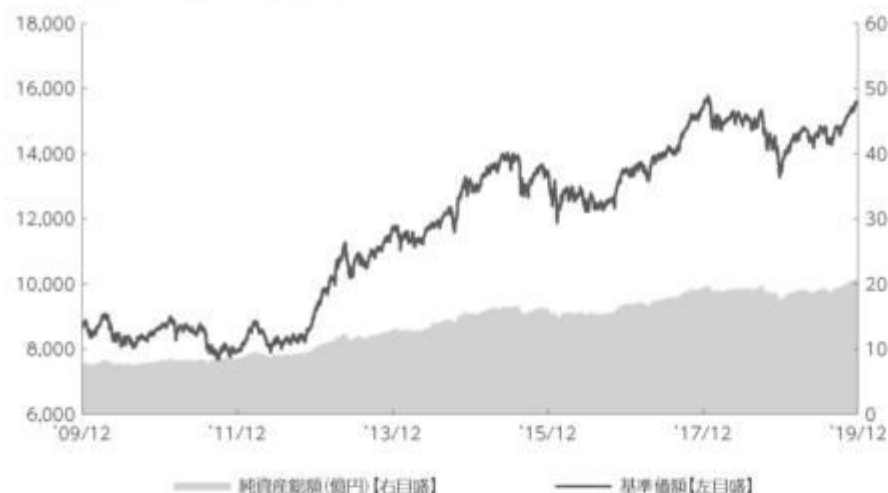


・収益率は基準価額で計算

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ライフプラン 50

■基準価額・純資産の推移 2009年12月30日～2019年12月30日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	15,610円
純資産総額	20.7億円

■分配の推移

2019年12月	0円
2018年12月	0円
2017年12月	0円
2016年12月	0円
2015年12月	0円
2014年12月	0円
設定来累計	200円

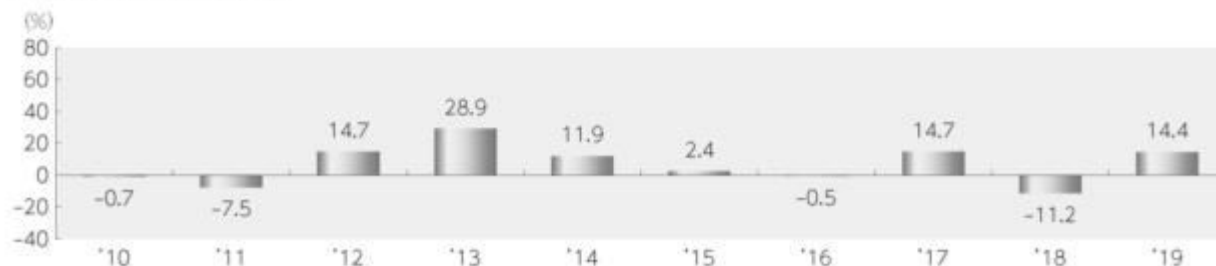
・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	31.2%	1 円	70.6%	第一三共	株式	医薬品	日本	1.0%
国内債券	32.3%	2 アメリカドル	19.2%	AMAZON.COM INC	株式	小売	アメリカ	1.0%
外国株式	21.1%	3 ユーロ	5.8%	リコー	株式	電気機器	日本	0.9%
外国債券	7.6%	4 イギリスポンド	1.4%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.9%
		5 香港ドル	0.7%	日立製作所	株式	電気機器	日本	0.9%
		6 オーストラリアドル	0.6%	第354回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.9%
		7 ノルウェークローネ	0.4%	第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	社債	日本	0.6%
		8 スイスフラン	0.4%	第10回ピービーシーイー・エス・イー	債券	社債	日本	0.6%
コールローン他 (負債控除後)	7.8%	9 メキシコペソ	0.3%	第15回パナソニック	債券	社債	日本	0.6%
合計	100.0%	10 スウェーデンクローネ	0.3%	第3回マラヤン・バンキング(2019)	債券	社債	日本	0.6%

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- ・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- ・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

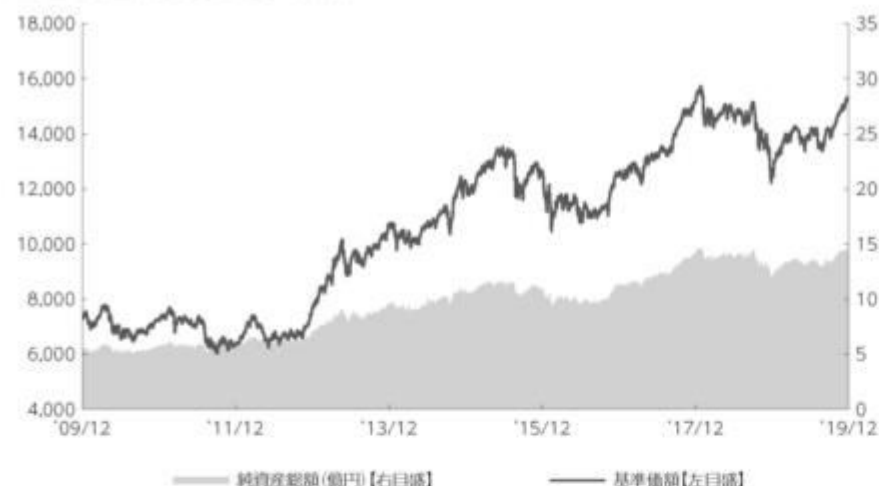


・収益率は基準価額で計算

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ライフプラン 75

■基準価額・純資産の推移 2009年12月30日～2019年12月30日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	15,317円
純資産総額	14.5億円

■分配の推移

2019年12月	0円
2018年12月	0円
2017年12月	0円
2016年12月	0円
2015年12月	0円
2014年12月	0円
設定来累計	100円

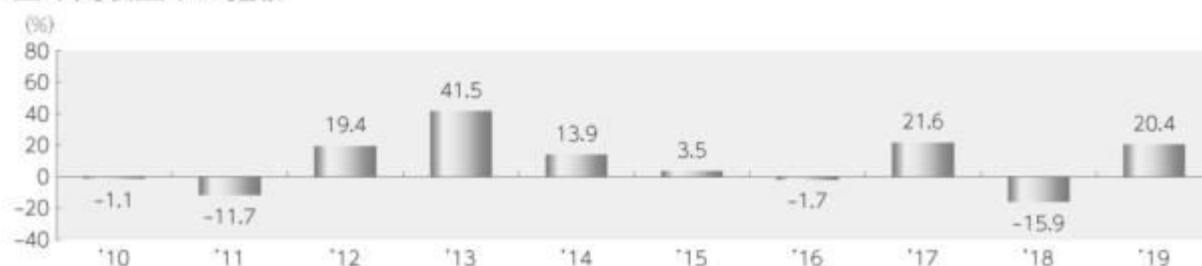
・分配金は1万円当たり、税引前

■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	45.8%	1 円	65.6%	第一三共	株式	医薬品	日本	1.5%
国内債券	12.6%	2 アメリカドル	24.5%	AMAZON.COM INC	株式	小売	アメリカ	1.5%
外国株式	30.8%	3 ユーロ	5.0%	リコー	株式	電気機器	日本	1.4%
外国債券	2.7%	4 イギリスポンド	1.4%	ソニー	株式	電気機器	日本	1.3%
		5 香港ドル	1.0%	日立製作所	株式	電気機器	日本	1.3%
		6 オーストラリアドル	0.7%	第354回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%
		7 スイスフラン	0.6%	第26回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	社債	日本	0.2%
コールローン他		8 ノルウェークローネ	0.4%	第10回ピービーシーイーエスイー	債券	社債	日本	0.2%
(負債控除後)	8.1%	9 スウェーデンクローネ	0.4%	第15回パナソニック	債券	社債	日本	0.2%
合計	100.0%	10 カナダドル	0.2%	第3回マラヤンパシフィック(2019)	債券	社債	日本	0.2%

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- ・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- ・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移



・収益率は基準価額で計算

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

①申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

②申込単位

販売会社が定める単位

確定拠出年金制度を利用する場合の取得申込みについては、1円以上1円単位

③申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額

④申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

⑤申込単位・申込価額の照会方法

申込単位および申込価額は、販売会社にてご確認ください。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

なお、申込価額は委託会社のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

⑥申込手数料

申込価額（発行価格）×2.2%（税抜 2%）を上限として販売会社が定める手数料率

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（累積投資コース）があり、分配金再投資コース（累積投資コース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。

確定拠出年金制度を利用する場合の取得申込みについては、申込手数料はかかりません。スイッチングの際には申込手数料はかかりません。

⑦申込方法

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額および申込手数料（税込）を販売会社が定める日までに支払うものとします。

なお、申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（累積投資コース）があります。申込みコースの取扱いは販売会社により異なる場合があります。

⑧申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社にご確認ください。

確定拠出年金制度を利用する場合の取得申込みについては上記と異なる取扱いをしている場合があります。

⑨取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することがあります。

※申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

2【換金（解約）手続等】

①解約の受付

原則として、いつでも解約の請求ができます。

受益者の解約請求に係る受益権の口数の減少は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録さ

れます。

②解約単位

販売会社が定める単位（ただし、1万口を上回らないものとします。）
確定拠出年金制度を利用する場合の解約請求については、1口単位

③解約価額

解約請求受付日の翌営業日の基準価額

④信託財産留保額

ありません。

⑤解約価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

⑥解約価額の照会方法

解約価額は、販売会社にてご確認ください。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

⑦支払開始日

解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して5営業日目から販売会社において支払います。

⑧解約請求受付時間

解約の請求は、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。解約請求が行われ、かつ当該換金請求に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての請求に関しては販売会社にご確認ください。

確定拠出年金制度を利用する場合の解約請求については上記と異なる取扱いをしている場合があります。

⑨解約請求受付の中止および取消し

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止することがあります。その場合には、受益者は、当該受付中止以前に行った当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとします。

また、市況動向等により、大口の解約請求に制限を設ける場合があります。

※換金（解約）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

3【資産管理等の概要】

（１）【資産の評価】

①基準価額の算出方法

基準価額＝信託財産の純資産総額÷受益権総口数

なお、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

「信託財産の純資産総額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

す。

（資産の評価方法）

・株式／上場投資信託証券／不動産投資信託証券

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場（外国で取引されているものについては、原則として、金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場）で評価します。

・転換社債／転換社債型新株予約権付社債

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額（外国で取引されているものについては、原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額）で評価します。

・公社債等

原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額で評価します。

残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法による評価を適用することができます。

・マザーファンド

計算日における基準価額で評価します。

・投資信託証券（上場投資信託証券／不動産投資信託証券を除く。）

原則として、計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。

・外貨建資産

原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円換算します。

・外国為替予約取引

原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価します。

・市場デリバティブ取引

原則として、金融商品取引所が発表する計算日の清算値段等で評価します。

②基準価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

③基準価額の照会方法

基準価額は、販売会社にてご確認いただけます。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

（2）【保管】

該当事項はありません。

（3）【信託期間】

無期限（2000年8月11日設定）

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることがあります。

（４）【計算期間】

毎年12月16日から翌年12月15日まで

ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。
なお、最終計算期間の終了日は、ファンドの信託期間の終了日とします。

（５）【その他】

①ファンドの償還条件等

委託会社は、以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還させることができます。（任意償還）

- ・各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合
- ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき

このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録取消・解散・業務廃止のときは、原則として、ファンドを償還させます。

委託会社は、ファンドを償還しようとするときは、あらかじめその旨を監督官庁に届け出ます。

②信託約款の変更

委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することができます。委託会社は、信託約款を変更しようとするときは、あらかじめその旨を監督官庁に届け出ます。

委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、上記の手続きにしたがいます。

③ファンドの償還等に関する開示方法

委託会社は、ファンドの任意償還または信託約款の変更のうち重大な内容の変更を行おうとする場合、あらかじめその旨およびその内容を公告し、かつ、原則としてこれらの事項を記載した書面を受益者に交付します（ただし、この信託約款に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。）。この公告および書面には、原則として、受益者で異議のあるものは一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。

④異議申立ておよび反対者の買取請求権

受益者は、委託会社がファンドの任意償還または信託約款について重大な内容の変更を行おうとする場合、原則として、一定の期間（１ヵ月以上）内に委託会社に対して異議を述べるすることができます。異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。なお、一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、ファンドの償還または信託約款の変更を行いません。その場合、償還しない旨または信託約款を変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、原則として、これらの事項を記載した書面を受益者に交付します（ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。）。

⑤関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結された「投資信託受益権の取扱に関する契約」の契約期間は、契約締結日から1年とします。ただし双方から契約満了日の3ヵ月前までに別段の意思表示のないときは、さらに1年間延長するものとし、その後も同様とします。

⑥運用報告書

委託会社は、毎計算期間の末日および償還時に、交付運用報告書を作成し、原則として受益者に交付します。なお、信託約款の内容に委託会社が重要と判断した変更、ファンドの任意償還等があった場合は、その内容を交付運用報告書に記載します。

⑦委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

委託会社は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。また、委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

⑧受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、信託約款の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はファンドを償還させます。

⑨信託事務の再信託

受託会社は、ファンドに係る信託事務の処理の一部について再信託受託会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

⑩公告

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<https://www.am.mufg.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は以下の通りです。

(1) 収益分配金に対する受領権

受益者は、収益分配金を持ち分に応じて受領する権利を有します。

①分配金受取コース（一般コース）

収益分配金は、税金を差引いた後、毎計算期間の終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として決算日から起算して5営業日以内）から、販売会社において、受益者に支払います。

ただし、受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

②分配金再投資コース（累積投資コース）

収益分配金は、税金を差引いた後、「累積投資契約」に基づいて、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。

(2) 償還金に対する受領権

受益者は、償還金を持ち分に応じて受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日以内）から、販売会社において、受益者に支払います。

ただし、受益者が、償還金について支払開始日から10年間その支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

(3) 換金（解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、換金（解約）請求する権利を有します。

くわしくは「第2 管理及び運営 2 換金（解約）手続等」を参照してください。

第3【ファンドの経理状況】

- 1 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（平成30年12月18日から令和1年12月16日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

【三菱UFJ ライフプラン 25】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	6,445,235	-
コール・ローン	43,914,226	55,935,600
親投資信託受益証券	882,357,056	975,960,172
未収入金	864,750	237,346
流動資産合計	933,581,267	1,032,133,118
資産合計	933,581,267	1,032,133,118
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	183,076
未払受託者報酬	413,100	430,825
未払委託者報酬	4,234,185	4,415,940
未払利息	91	78
その他未払費用	18,585	19,328
流動負債合計	4,665,961	5,049,247
負債合計	4,665,961	5,049,247
純資産の部		
元本等		
元本	666,696,400	694,828,316
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	262,218,906	332,255,555
（分配準備積立金）	178,375,662	184,781,799
元本等合計	928,915,306	1,027,083,871
純資産合計	928,915,306	1,027,083,871
負債純資産合計	933,581,267	1,032,133,118

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
営業収益		
受取利息	122	158
有価証券売買等損益	△28,886,041	67,306,174
営業収益合計	△28,885,919	67,306,332
営業費用		
支払利息	29,570	25,142
受託者報酬	813,154	839,363
委託者報酬	8,334,683	8,603,395
その他費用	36,643	37,977
営業費用合計	9,214,050	9,505,877
営業利益又は営業損失（△）	△38,099,969	57,800,455
経常利益又は経常損失（△）	△38,099,969	57,800,455
当期純利益又は当期純損失（△）	△38,099,969	57,800,455
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	△505,275	1,693,201
期首剰余金又は期首欠損金（△）	285,305,996	262,218,906
剰余金増加額又は欠損金減少額	34,032,974	33,585,273
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	34,032,974	33,585,273
剰余金減少額又は欠損金増加額	19,525,370	19,655,878
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	19,525,370	19,655,878
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	262,218,906	332,255,555

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年12月15日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間および当計算期間においては当該日が休業日のため、当計算期間は平成30年12月18日から令和 1年12月16日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1. 期首元本額	633,165,690円	666,696,400円
期中追加設定元本額	76,870,591円	77,943,201円
期中一部解約元本額	43,339,881円	49,811,285円
2. 受益権の総数	666,696,400口	694,828,316口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>2,310,156円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>176,387,312円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>176,065,506円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>354,762,974円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>666,696,400口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>5,321円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>－円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	2,310,156円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円	収益調整金額	C	176,387,312円	分配準備積立金額	D	176,065,506円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	354,762,974円	当ファンドの期末残存口数	F	666,696,400口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	5,321円	1万口当たり分配金額	H	－円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円	<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>10,947,550円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>8,077,971円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>204,059,241円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>165,756,278円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>388,841,040円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>694,828,316口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>5,596円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>－円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	10,947,550円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	8,077,971円	収益調整金額	C	204,059,241円	分配準備積立金額	D	165,756,278円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	388,841,040円	当ファンドの期末残存口数	F	694,828,316口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	5,596円	1万口当たり分配金額	H	－円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	2,310,156円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円																																																											
収益調整金額	C	176,387,312円																																																											
分配準備積立金額	D	176,065,506円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	354,762,974円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	666,696,400口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	5,321円																																																											
1万口当たり分配金額	H	－円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	10,947,550円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	8,077,971円																																																											
収益調整金額	C	204,059,241円																																																											
分配準備積立金額	D	165,756,278円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	388,841,040円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	694,828,316口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	5,596円																																																											
1万口当たり分配金額	H	－円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円																																																											

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

区分	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	△26,586,925	58,147,574
合計	△26,586,925	58,147,574

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	1.3933円	1.4782円
(1万口当たり純資産額)	(13,933円)	(14,782円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益 証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド	121,178,821	183,488,970	
	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド	396,745,789	586,350,601	
	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド	58,974,197	130,061,694	
	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	24,782,961	76,058,907	
合計		601,681,768	975,960,172	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【三菱UFJ ライフプラン 50】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	13,144,163	-
コール・ローン	89,556,968	110,960,956
親投資信託受益証券	1,736,624,001	1,957,672,465
未収入金	1,463,481	3,068,053
流動資産合計	1,840,788,613	2,071,701,474
資産合計	1,840,788,613	2,071,701,474
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	2,627,017
未払受託者報酬	832,079	844,836
未払委託者報酬	10,608,968	10,771,560
未払利息	186	155
その他未払費用	37,509	37,961
流動負債合計	11,478,742	14,281,529
負債合計	11,478,742	14,281,529
純資産の部		
元本等		
元本	1,297,665,602	1,328,032,265
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	531,644,269	729,387,680
（分配準備積立金）	509,013,420	518,403,447
元本等合計	1,829,309,871	2,057,419,945
純資産合計	1,829,309,871	2,057,419,945
負債純資産合計	1,840,788,613	2,071,701,474

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
営業収益		
受取利息	247	297
有価証券売買等損益	△115,244,423	205,603,403
営業収益合計	△115,244,176	205,603,700
営業費用		
支払利息	60,328	48,911
受託者報酬	1,654,231	1,643,316
委託者報酬	21,091,369	20,952,091
その他費用	74,686	74,446
営業費用合計	22,880,614	22,718,764
営業利益又は営業損失（△）	△138,124,790	182,884,936
経常利益又は経常損失（△）	△138,124,790	182,884,936
当期純利益又は当期純損失（△）	△138,124,790	182,884,936
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	△1,375,879	3,516,253
期首剰余金又は期首欠損金（△）	646,097,513	531,644,269
剰余金増加額又は欠損金減少額	70,430,464	61,242,597
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	70,430,464	61,242,597
剰余金減少額又は欠損金増加額	48,134,797	42,867,869
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	48,134,797	42,867,869
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	531,644,269	729,387,680

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年12月15日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間および当計算期間においては当該日が休業日のため、当計算期間は平成30年12月18日から令和 1年12月16日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1. 期首元本額	1,250,845,626円	1,297,665,602円
期中追加設定元本額	140,018,340円	134,778,765円
期中一部解約元本額	93,198,364円	104,412,102円
2. 受益権の総数	1,297,665,602口	1,328,032,265口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>4,885,501円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>406,778,005円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>504,127,919円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>915,791,425円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>1,297,665,602口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>7,057円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>－円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,885,501円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円	収益調整金額	C	406,778,005円	分配準備積立金額	D	504,127,919円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	915,791,425円	当ファンドの期末残存口数	F	1,297,665,602口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,057円	1万口当たり分配金額	H	－円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円	<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>28,676,338円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>19,985,405円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>467,695,950円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>469,741,704円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>986,099,397円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>1,328,032,265口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>7,425円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>－円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	28,676,338円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	19,985,405円	収益調整金額	C	467,695,950円	分配準備積立金額	D	469,741,704円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	986,099,397円	当ファンドの期末残存口数	F	1,328,032,265口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,425円	1万口当たり分配金額	H	－円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,885,501円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円																																																											
収益調整金額	C	406,778,005円																																																											
分配準備積立金額	D	504,127,919円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	915,791,425円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	1,297,665,602口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,057円																																																											
1万口当たり分配金額	H	－円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	28,676,338円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	19,985,405円																																																											
収益調整金額	C	467,695,950円																																																											
分配準備積立金額	D	469,741,704円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	986,099,397円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	1,328,032,265口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,425円																																																											
1万口当たり分配金額	H	－円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円																																																											

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

区分	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	△111,120,054	181,150,191
合計	△111,120,054	181,150,191

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	1.4097円	1.5492円
(1万口当たり純資産額)	(14,097円)	(15,492円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益 証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド	449,594,300	680,775,689	
	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド	446,721,858	660,210,233	
	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド	210,845,013	464,997,591	
	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	49,426,182	151,688,952	
合計		1,156,587,353	1,957,672,465	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【三菱UFJ ライフプラン 75】

（１）【貸借対照表】

(単位：円)

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	9,493,872	-
コール・ローン	64,685,925	80,197,130
親投資信託受益証券	1,210,381,073	1,370,621,145
未収入金	732,323	1,821,826
流動資産合計	1,285,293,193	1,452,640,101
資産合計	1,285,293,193	1,452,640,101
負債の部		
流動負債		
未払解約金	16,668	1,301,853
未払受託者報酬	598,039	588,103
未払委託者報酬	9,120,005	8,968,528
未払利息	134	112
その他未払費用	26,935	26,396
流動負債合計	9,761,781	10,884,992
負債合計	9,761,781	10,884,992
純資産の部		
元本等		
元本	955,208,686	951,731,523
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	320,322,726	490,023,586
（分配準備積立金）	382,924,567	376,250,864
元本等合計	1,275,531,412	1,441,755,109
純資産合計	1,275,531,412	1,441,755,109
負債純資産合計	1,285,293,193	1,452,640,101

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
営業収益		
受取利息	192	222
有価証券売買等損益	△122,312,764	190,344,549
営業収益合計	△122,312,572	190,344,771
営業費用		
支払利息	44,603	34,940
受託者報酬	1,198,171	1,149,765
委託者報酬	18,271,994	17,533,791
その他費用	54,057	52,068
営業費用合計	19,568,825	18,770,564
営業利益又は営業損失（△）	△141,881,397	171,574,207
経常利益又は経常損失（△）	△141,881,397	171,574,207
当期純利益又は当期純損失（△）	△141,881,397	171,574,207
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	△1,747,497	7,274,163
期首剰余金又は期首欠損金（△）	449,881,298	320,322,726
剰余金増加額又は欠損金減少額	62,758,886	45,799,080
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	62,758,886	45,799,080
剰余金減少額又は欠損金増加額	52,183,558	40,398,264
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	52,183,558	40,398,264
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	320,322,726	490,023,586

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年12月15日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間および当計算期間においては当該日が休業日のため、当計算期間は平成30年12月18日から令和 1年12月16日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1. 期首元本額	928,699,114円	955,208,686円
期中追加設定元本額	134,155,469円	116,170,798円
期中一部解約元本額	107,645,897円	119,647,961円
2. 受益権の総数	955,208,686口	951,731,523口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>2,575,273円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>345,628,653円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>380,349,294円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>728,553,220円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>955,208,686口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>7,627円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>－円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	2,575,273円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円	収益調整金額	C	345,628,653円	分配準備積立金額	D	380,349,294円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	728,553,220円	当ファンドの期末残存口数	F	955,208,686口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,627円	1万口当たり分配金額	H	－円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円	<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>23,660,888円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>14,721,642円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>388,259,668円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>337,868,334円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>764,510,532円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>951,731,523口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>8,032円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>－円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>－円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	23,660,888円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	14,721,642円	収益調整金額	C	388,259,668円	分配準備積立金額	D	337,868,334円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	764,510,532円	当ファンドの期末残存口数	F	951,731,523口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	8,032円	1万口当たり分配金額	H	－円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	2,575,273円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円																																																											
収益調整金額	C	345,628,653円																																																											
分配準備積立金額	D	380,349,294円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	728,553,220円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	955,208,686口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,627円																																																											
1万口当たり分配金額	H	－円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	23,660,888円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	14,721,642円																																																											
収益調整金額	C	388,259,668円																																																											
分配準備積立金額	D	337,868,334円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	764,510,532円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	951,731,523口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	8,032円																																																											
1万口当たり分配金額	H	－円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円																																																											

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第19期 自 平成29年12月16日 至 平成30年12月17日	第20期 自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

区分	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	△119,629,921	170,098,827
合計	△119,629,921	170,098,827

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第19期 [平成30年12月17日現在]	第20期 [令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	1.3353円	1.5149円
(1万口当たり純資産額)	(13,353円)	(15,149円)

（４）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド	456,958,824	691,927,051	
	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	119,307,242	176,324,172	
	三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド	212,259,929	468,118,047	
	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	11,160,598	34,251,875	
合 計		799,686,593	1,370,621,145	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[令和 1年12月16日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	89,803,158
株式	8,743,233,810
未収入金	34,937,404
未収配当金	3,000,400
流動資産合計	8,870,974,772
資産合計	8,870,974,772
負債の部	
流動負債	
未払金	35,941,493

[令和 1年12月16日現在]	
未払解約金	11,888,645
未払利息	125
流動負債合計	47,830,263
負債合計	47,830,263
純資産の部	
元本等	
元本	5,826,887,345
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	2,996,257,164
元本等合計	8,823,144,509
純資産合計	8,823,144,509
負債純資産合計	8,870,974,772

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

[令和 1年12月16日現在]	
1. 期首	平成30年12月18日
期首元本額	7,721,817,217円
期中追加設定元本額	1,907,228,989円
期中一部解約元本額	3,802,158,861円
元本の内訳※	
三菱ＵＦＪ 日本株式オープン	1,055,785,064円
三菱ＵＦＪ 日本バランスオープン 株式２０型	605,422,826円
三菱ＵＦＪ 日本バランスオープン 株式４０型	1,549,322,612円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５	121,178,821円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０	449,594,300円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５	456,958,824円
三菱ＵＦＪ 日本株式オープンＶＡ（適格機関投資家限定）	369,871,150円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	247,716,453円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ２５ＶＡ（適格機関投資家限定）	32,757,948円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	423,611,475円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定型）	41,771,437円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	34,423,052円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（成長型）	24,019,706円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（積極型）	55,282,440円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０２０	248,452円

	[令和 1年12月16日現在]
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	4,865,015円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	5,917,968円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定型）	28,865,127円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	80,317,244円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（成長型）	53,590,713円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（積極型）	68,182,073円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	3,474,114円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	48,860,744円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040	64,849,787円
合計	5,826,887,345円
2. 受益権の総数	5,826,887,345口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 1年12月16日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品

区分	[令和 1年12月16日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[令和 1年12月16日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	958,821,363
合計	958,821,363

(注) 当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	1.5142円
(1万口当たり純資産額)	(15,142円)

附属明細表

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

（単位：円）

	銘 柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
1605	国際石油開発帝石	72,400	1,095.00	79,278,000	
1883	前田道路	10,900	2,664.00	29,037,600	
1925	大和ハウス工業	8,000	3,435.00	27,480,000	
1951	協和エクシオ	33,000	2,841.00	93,753,000	
1963	日揮ホールディングス	53,300	1,746.00	93,061,800	
2270	雪印メグミルク	30,000	2,563.00	76,890,000	
2296	伊藤ハム米久ホールディングス	72,800	721.00	52,488,800	
2579	コカ・コーラ ボトラーズジャパン ホールデ	31,900	2,813.00	89,734,700	
2871	ニチレイ	32,800	2,570.00	84,296,000	
2875	東洋水産	19,600	4,665.00	91,434,000	
3402	東レ	113,600	763.40	86,722,240	
4063	信越化学工業	2,300	12,270.00	28,221,000	
4091	大陽日酸	19,700	2,461.00	48,481,700	
4182	三菱瓦斯化学	66,100	1,706.00	112,766,600	
4927	ポーラ・オルビスホールディングス	25,900	2,720.00	70,448,000	
4985	アース製薬	10,600	5,730.00	60,738,000	
4997	日本農薬	194,900	583.00	113,626,700	
4502	武田薬品工業	49,900	4,438.00	221,456,200	
4523	エーザイ	8,000	8,272.00	66,176,000	
4568	第一三共	37,600	7,281.00	273,765,600	
5406	神戸製鋼所	140,800	624.00	87,859,200	
5486	日立金属	56,800	1,539.00	87,415,200	
5801	古河電気工業	24,700	3,070.00	75,829,000	
6305	日立建機	42,100	3,280.00	138,088,000	
7013	I H I	33,500	2,614.00	87,569,000	
4062	イビデン	46,500	2,607.00	121,225,500	
6501	日立製作所	54,300	4,318.00	234,467,400	
6702	富士通	19,600	10,100.00	197,960,000	
6753	シャープ	117,600	1,780.00	209,328,000	
6758	ソニー	35,000	7,466.00	261,310,000	
6925	ウシオ電機	123,300	1,671.00	206,034,300	
7752	リコー	191,800	1,187.00	227,666,600	
7102	日本車輛製造	26,300	3,105.00	81,661,500	
7105	三菱ロジスネクスト	131,800	1,328.00	175,030,400	
7203	トヨタ自動車	14,900	7,785.00	115,996,500	
7205	日野自動車	98,900	1,168.00	115,515,200	
7259	アイシン精機	21,100	4,195.00	88,514,500	
7267	本田技研工業	39,100	3,206.00	125,354,600	
8050	セイコーホールディングス	46,800	2,849.00	133,333,200	
7823	アートネイチャー	86,100	816.00	70,257,600	

7911	凸版印刷	3,600	2,259.00	8,132,400	
7974	任天堂	2,900	45,460.00	131,834,000	
9502	中部電力	59,100	1,555.50	91,930,050	
9062	日本通運	6,700	6,590.00	44,153,000	
9065	山九	15,200	5,570.00	84,664,000	
9143	S Gホールディングス	33,900	2,541.00	86,139,900	
9201	日本航空	13,600	3,383.00	46,008,800	
9303	住友倉庫	47,800	1,509.00	72,130,200	
3626	T I S	13,700	6,530.00	89,461,000	
4348	インフォコム	35,500	2,496.00	88,608,000	
9422	コネクシオ	51,900	1,558.00	80,860,200	
9434	ソフトバンク	82,200	1,451.00	119,272,200	
9697	カプコン	4,300	2,911.00	12,517,300	
9719	S C S K	17,200	5,800.00	99,760,000	
2767	フィールズ	223,300	543.00	121,251,900	
8001	伊藤忠商事	35,500	2,539.50	90,152,250	
8002	丸紅	111,500	829.00	92,433,500	
8058	三菱商事	47,000	2,924.00	137,428,000	
3028	アルペン	39,900	1,848.00	73,735,200	
3186	ネクステージ	147,100	1,247.00	183,433,700	
3193	鳥貴族	46,500	2,322.00	107,973,000	
3563	スシログローバルホールディングス	25,500	8,740.00	222,870,000	
8214	A O K Iホールディングス	69,900	1,131.00	79,056,900	
8233	高島屋	79,900	1,288.00	102,911,200	
8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	245,200	593.00	145,403,600	
8308	りそなホールディングス	256,300	486.90	124,792,470	
8316	三井住友フィナンシャルグループ	35,700	4,062.00	145,013,400	
8473	S B Iホールディングス	42,000	2,317.00	97,314,000	
7326	S B I インシュアランスグループ	89,400	1,081.00	96,641,400	
8729	ソニーフィナンシャルホールディングス	36,700	2,670.00	97,989,000	
8766	東京海上ホールディングス	14,100	6,232.00	87,871,200	
8439	東京センチュリー	14,800	5,940.00	87,912,000	
8804	東京建物	79,800	1,715.00	136,857,000	
2148	アイティメディア	228,300	741.00	169,170,300	
2432	ディー・エヌ・エー	21,600	1,780.00	38,448,000	
4324	電通	27,400	4,140.00	113,436,000	
4751	サイバーエージェント	18,900	3,885.00	73,426,500	
6185	SMN	77,600	841.00	65,261,600	
7034	プロレド・パートナーズ	32,500	8,000.00	260,000,000	
9616	共立メンテナンス	19,400	4,985.00	96,709,000	
合 計		4,697,700		8,743,233,810	

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
[令和 1年12月16日現在]	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	141,982,842
国債証券	5,940,045,800
特殊債券	99,995,000
社債券	4,306,642,000
未収利息	25,046,960
前払費用	1,098,316
流動資産合計	10,514,810,918
資産合計	10,514,810,918
負債の部	
流動負債	
未払解約金	7,638,570
未払利息	198
流動負債合計	7,638,768
負債合計	7,638,768
純資産の部	
元本等	
元本	7,109,682,791
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	3,397,489,359
元本等合計	10,507,172,150
純資産合計	10,507,172,150
負債純資産合計	10,514,810,918

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[令和 1年12月16日現在]
1. 期首	平成30年12月18日
期首元本額	6,942,356,463円
期中追加設定元本額	3,100,308,718円
期中一部解約元本額	2,932,982,390円
元本の内訳※	
国内債券通貨プラス	1,241,644,363円
国内債券セレクション（ラップ向け）	1,804,861,607円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定型）	115,761,910円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定成長型）	140,893,003円
三菱UFJ 日本バランスオープン 株式20型	804,178,101円
三菱UFJ 日本バランスオープン 株式40型	818,253,510円
三菱UFJ ライフプラン 25	396,745,789円
三菱UFJ ライフプラン 50	446,721,858円
三菱UFJ ライフプラン 75	119,307,242円
三菱UFJ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）	246,105,313円
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）	39,239,033円
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）	169,069,066円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（安定型）	119,844,030円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	48,146,412円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（成長型）	22,145,518円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（積極型）	37,551,093円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	536,541円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	13,069,013円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	7,924,136円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定型）	82,814,059円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	112,814,085円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（成長型）	49,158,206円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（積極型）	46,202,802円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	7,885,711円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	131,310,649円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040	87,499,741円
合計	7,109,682,791円
2. 受益権の総数	7,109,682,791口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 1年12月16日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[令和 1年12月16日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	43,040,600
特殊債券	△5,000
社債券	△2,481,000
合計	40,554,600

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）
取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	1.4779円
(1万口当たり純資産額)	(14,779円)

附属明細表

第 1 有価証券明細表
(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

(単位：円)

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	第 4 0 0 回利付国債（２年）	100,000,000	100,336,000	
	第 1 4 1 回利付国債（５年）	50,000,000	50,550,500	
	第 5 回利付国債（４ 0 年）	70,000,000	103,625,200	
	第 7 回利付国債（４ 0 年）	60,000,000	84,646,200	
	第 1 0 回利付国債（４ 0 年）	60,000,000	69,953,400	
	第 1 1 回利付国債（４ 0 年）	50,000,000	56,635,500	
	第 3 4 2 回利付国債（１ 0 年）	50,000,000	50,725,000	
	第 3 4 5 回利付国債（１ 0 年）	60,000,000	60,954,000	
	第 3 4 6 回利付国債（１ 0 年）	100,000,000	101,647,000	
	第 3 4 7 回利付国債（１ 0 年）	60,000,000	61,023,000	
	第 3 5 0 回利付国債（１ 0 年）	100,000,000	101,664,000	
	第 3 5 1 回利付国債（１ 0 年）	90,000,000	91,426,500	

第352回利付国債（10年）	50,000,000	50,771,000	
第354回利付国債（10年）	300,000,000	304,182,000	
第23回利付国債（30年）	40,000,000	54,920,000	
第26回利付国債（30年）	60,000,000	82,153,200	
第27回利付国債（30年）	10,000,000	13,944,400	
第28回利付国債（30年）	20,000,000	28,052,000	
第30回利付国債（30年）	40,000,000	55,215,600	
第31回利付国債（30年）	30,000,000	41,053,500	
第32回利付国債（30年）	70,000,000	97,758,500	
第33回利付国債（30年）	50,000,000	67,267,500	
第34回利付国債（30年）	60,000,000	83,529,000	
第36回利付国債（30年）	80,000,000	109,168,800	
第37回利付国債（30年）	40,000,000	53,979,600	
第38回利付国債（30年）	20,000,000	26,637,200	
第39回利付国債（30年）	40,000,000	54,291,600	
第42回利付国債（30年）	60,000,000	79,170,600	
第44回利付国債（30年）	30,000,000	39,725,400	
第45回利付国債（30年）	20,000,000	25,553,200	
第46回利付国債（30年）	50,000,000	64,010,500	
第48回利付国債（30年）	10,000,000	12,585,000	
第49回利付国債（30年）	30,000,000	37,824,600	
第50回利付国債（30年）	60,000,000	66,652,200	
第53回利付国債（30年）	30,000,000	31,811,400	
第54回利付国債（30年）	100,000,000	111,196,000	
第58回利付国債（30年）	140,000,000	155,597,400	
第60回利付国債（30年）	60,000,000	68,354,400	
第61回利付国債（30年）	30,000,000	32,508,000	
第98回利付国債（20年）	70,000,000	82,138,000	
第99回利付国債（20年）	110,000,000	129,587,700	
第100回利付国債（20年）	80,000,000	95,275,200	
第103回利付国債（20年）	60,000,000	72,231,000	
第105回利付国債（20年）	50,000,000	59,562,000	
第108回利付国債（20年）	20,000,000	23,550,400	
第110回利付国債（20年）	60,000,000	71,994,000	
第111回利付国債（20年）	70,000,000	84,963,200	
第113回利付国債（20年）	50,000,000	60,453,000	
第114回利付国債（20年）	50,000,000	60,629,500	
第116回利付国債（20年）	70,000,000	85,880,200	
第118回利付国債（20年）	60,000,000	72,607,800	
第121回利付国債（20年）	30,000,000	36,093,600	
第123回利付国債（20年）	40,000,000	49,138,400	
第125回利付国債（20年）	60,000,000	74,604,000	

	第１２８回利付国債（２０年）	60,000,000	72,782,400	
	第１３０回利付国債（２０年）	50,000,000	60,264,000	
	第１３２回利付国債（２０年）	50,000,000	59,811,500	
	第１３６回利付国債（２０年）	30,000,000	35,620,200	
	第１３７回利付国債（２０年）	70,000,000	84,198,100	
	第１４０回利付国債（２０年）	40,000,000	48,214,400	
	第１４１回利付国債（２０年）	110,000,000	132,941,600	
	第１４３回利付国債（２０年）	80,000,000	95,822,400	
	第１４５回利付国債（２０年）	80,000,000	97,122,400	
	第１４６回利付国債（２０年）	90,000,000	109,468,800	
	第１４７回利付国債（２０年）	80,000,000	96,377,600	
	第１４８回利付国債（２０年）	50,000,000	59,670,000	
	第１４９回利付国債（２０年）	90,000,000	107,555,400	
	第１５０回利付国債（２０年）	90,000,000	106,474,500	
	第１５２回利付国債（２０年）	90,000,000	104,093,100	
	第１５３回利付国債（２０年）	40,000,000	46,935,200	
	第１５４回利付国債（２０年）	110,000,000	127,486,700	
	第１５５回利付国債（２０年）	80,000,000	90,276,800	
	第１５８回利付国債（２０年）	110,000,000	115,350,400	
	第１５９回利付国債（２０年）	90,000,000	95,841,900	
	第１６０回利付国債（２０年）	40,000,000	43,263,600	
	第１６２回利付国債（２０年）	100,000,000	106,403,000	
	第１６４回利付国債（２０年）	30,000,000	31,364,100	
	第１６６回利付国債（２０年）	160,000,000	172,900,800	
国債証券 合計		5,080,000,000	5,940,045,800	
特殊債券	第４８回西日本高速道路	100,000,000	99,995,000	
特殊債券 合計		100,000,000	99,995,000	
社債券	第２３回フランス相互信用連合銀行	100,000,000	99,775,000	
	第２９回フランス相互信用連合銀行	100,000,000	99,914,000	
	第１０回ビー・ピー・シー・イー・エス・エー	200,000,000	200,318,000	
	第３回香港上海銀行	100,000,000	99,542,000	
	第３回マラヤン・バンキング（２０１９）	200,000,000	199,916,000	
	第２回スタンダード・チャータード・ピーエルシー	100,000,000	100,081,000	
	第１回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項付	100,000,000	100,868,000	
	第１回サントナデル銀行（２０１９）	100,000,000	99,800,000	
	第１７回シティグループ	100,000,000	101,416,000	
	第１９回ルノー	200,000,000	199,658,000	
	第３回ソシエテ ジェネラル円貨社債（２０１８）	100,000,000	101,076,000	
	UBS GROUP FUNDING (SWITZERLAND)	100,000,000	100,324,000	
	第５０回日本電気	100,000,000	100,335,000	
	第１５回パナソニック	200,000,000	200,218,000	

第３４回ソニー	100,000,000	99,761,000	
第４３回ＩＨＩ	100,000,000	99,609,000	
第１回日本生命２０１７基金	100,000,000	100,164,000	
第１回明治安田生命２０１８基金	100,000,000	100,123,000	
第１回日本生命２０１９基金	100,000,000	99,991,000	
第１回明治安田生命２０１９基金	100,000,000	99,899,000	
第１回楽天カード	100,000,000	99,949,000	
第３５回丸井グループ	100,000,000	99,560,000	
第１３回三井住友トラスト・ホールディングス期限前償還条項付	100,000,000	99,764,000	
第２８回三菱東京ＵＦＪ銀行（劣後特約付）	200,000,000	203,208,000	
第１８回みずほフィナンシャルグループ期限前償還条項付	100,000,000	99,584,000	
第１９回ＳＢＩホールディングス	100,000,000	99,803,000	
第３回イオンフィナンシャルサービス	100,000,000	100,091,000	
第５回イオンフィナンシャルサービス	100,000,000	99,860,000	
第７回イオンフィナンシャルサービス	100,000,000	99,622,000	
第７５回アコム	100,000,000	100,053,000	
第１９回大和証券グループ本社	100,000,000	100,052,000	
第１回野村ホールディングス	100,000,000	99,900,000	
第２回野村ホールディングス	100,000,000	99,620,000	
第５６３回東京電力	100,000,000	100,592,000	
第２回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,892,000	
第１２回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,606,000	
第１６回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,104,000	
第２７回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,594,000	
社債券 合計	4,300,000,000	4,306,642,000	
合計	9,480,000,000	10,346,682,800	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[令和 1年12月16日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	21,176,382
コール・ローン	25,666,333
株式	4,193,260,456
未収入金	34,324,297
未収配当金	1,786,932
流動資産合計	4,276,214,400
資産合計	4,276,214,400
負債の部	
流動負債	
未払解約金	18,139,080
未払利息	35
流動負債合計	18,139,115
負債合計	18,139,115
純資産の部	
元本等	
元本	1,930,724,887
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	2,327,350,398
元本等合計	4,258,075,285
純資産合計	4,258,075,285
負債純資産合計	4,276,214,400

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[令和 1年12月16日現在]
1. 期首	平成30年12月18日
期首元本額	2,704,223,015円
期中追加設定元本額	418,975,392円
期中一部解約元本額	1,192,473,520円
元本の内訳※	
三菱UFJ ライフプラン 25	58,974,197円
三菱UFJ ライフプラン 50	210,845,013円
三菱UFJ ライフプラン 75	212,259,929円
三菱UFJ 海外株式オープン	447,815,440円

	[令和 1年12月16日現在]
三菱UFJ 海外株式オープンVA（適格機関投資家限定）	396,711,721円
三菱UFJ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）	116,157,432円
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）	21,969,747円
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）	285,263,389円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（安定型）	13,205,349円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	11,143,587円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（成長型）	9,064,945円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（積極型）	22,973,772円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	78,706円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	1,443,665円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	1,940,623円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定型）	9,121,489円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	25,870,508円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（成長型）	20,193,821円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（積極型）	28,325,704円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	1,091,969円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	14,842,952円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040	21,430,929円
合計	1,930,724,887円
2. 受益権の総数	1,930,724,887口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 1年12月16日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[令和 1年12月16日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	791,249,188
合計	791,249,188

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	2,2054円
(1万口当たり純資産額)	(22,054円)

附属明細表

第1 有価証券明細表
(1)株式

(単位：円)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
アメリカドル	CHEVRON CORP	5,912	117.96	697,379.52	
	SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	810	572.23	463,506.30	
	VULCAN MATERIALS CO	6,181	143.00	883,883.00	
	CATERPILLAR INC	4,815	145.53	700,726.95	
	FORTIVE CORP	8,110	75.19	609,790.90	
	HEICO CORP-CLASS A	6,330	97.00	614,010.00	
	ROPER TECHNOLOGIES INC	2,794	350.50	979,297.00	
	COSTAR GROUP INC	1,968	580.56	1,142,542.08	
	TESLA INC	1,703	358.39	610,338.17	
	DR HORTON INC	13,820	54.81	757,474.20	
	ALPHABET INC-CL C	738	1,347.83	994,698.54	
	AMAZON.COM INC	1,013	1,760.94	1,783,832.22	
	HOME DEPOT INC	2,184	214.08	467,550.72	
	ULTA BEAUTY INC	937	253.50	237,529.50	
	COSTCO WHOLESALE CORP	1,639	291.87	478,374.93	
	SYSCO CORP	4,867	83.54	406,589.18	
	ABIOMED INC	855	181.85	155,481.75	
	ALIGN TECHNOLOGY INC	1,224	266.06	325,657.44	
	CENTENE CORP	3,003	57.71	173,303.13	
	INTUITIVE SURGICAL INC	1,140	579.65	660,801.00	
	ABBVIE INC	6,481	87.84	569,291.04	
	ZOETIS INC	7,686	124.45	956,522.70	
	CITIGROUP INC	8,298	76.39	633,884.22	
	CITIZENS FINANCIAL GROUP	17,551	40.12	704,146.12	
	COMERICA INC	5,521	71.93	397,125.53	
	S&P GLOBAL INC	3,295	271.20	893,604.00	
	PROGRESSIVE CORP	8,256	72.17	595,835.52	
	SBA COMMUNICATIONS CORP	3,783	235.48	890,820.84	
	AUTODESK INC	4,846	179.41	869,420.86	

	CADENCE DESIGN SYS INC	10,143	67.92	688,912.56	
	MICROSOFT CORP	6,498	154.53	1,004,135.94	
	PAYPAL HOLDINGS INC	7,595	107.65	817,601.75	
	SALESFORCE.COM INC	7,908	161.13	1,274,216.04	
	VISA INC-CLASS A SHARES	5,178	185.14	958,654.92	
	VMWARE INC-CLASS A	7,150	151.30	1,081,795.00	
	WORKDAY INC-CLASS A	2,013	159.46	320,992.98	
	APPLE INC	3,021	275.15	831,228.15	
	T-MOBILE US INC	6,699	75.47	505,573.53	
	SEMPRA ENERGY	5,810	148.78	864,411.80	
アメリカドル 小計		197,775		28,000,940.03 (3,064,142,867)	
カナダドル	MANULIFE FINANCIAL CORP	12,400	25.40	314,960.00	
カナダドル 小計		12,400		314,960.00 (26,154,278)	
オーストラリアドル	BHP GROUP LTD	20,966	39.35	825,012.10	
	IDP EDUCATION LTD	16,091	17.52	281,914.32	
オーストラリアドル 小計		37,057		1,106,926.42 (83,318,351)	
イギリスポンド	ANTOFAGASTA PLC	13,825	9.29	128,434.25	
	ASHTED GROUP PLC	6,935	23.13	160,406.55	
	BAE SYSTEMS PLC	22,119	5.74	127,095.77	
	HOWDEN JOINERY GROUP PLC	17,789	6.83	121,641.18	
	INTL CONSOLIDATED AIRLINE-DI	23,796	6.29	149,772.02	
	AUTO TRADER GROUP PLC	53,067	5.73	304,498.44	
	GLAXOSMITHKLINE PLC	13,428	17.25	231,633.00	
	3I GROUP PLC	13,479	10.71	144,427.48	
イギリスポンド 小計		164,438		1,367,908.69 (199,892,496)	
スイスフラン	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	1,108	300.55	333,009.40	
	PARTNERS GROUP HOLDING AG	233	861.40	200,706.20	
	LOGITECH INTERNATIONAL-REG	5,054	44.32	223,993.28	
スイスフラン 小計		6,395		757,708.88 (84,249,650)	
香港ドル	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	38,000	53.30	2,025,400.00	
	TENCENT HOLDINGS LTD	11,600	361.00	4,187,600.00	
	AIA GROUP LTD	32,400	82.65	2,677,860.00	
香港ドル 小計		82,000		8,890,860.00 (124,738,765)	
スウェーデンクローネ	SANDVIK AB	9,642	187.00	1,803,054.00	
	SWEDISH MATCH AB	4,887	459.00	2,243,133.00	
スウェーデンクローネ 小計		14,529		4,046,187.00 (47,178,540)	

ノルウェークローネ	MOWI ASA	9,005	228.60	2,058,543.00	
	TELENOR ASA	9,725	160.05	1,556,486.25	
ノルウェークローネ 小計		18,730		3,615,029.25 (43,778,004)	
デンマーククローネ	NOVO NORDISK A/S-B	4,366	383.00	1,672,178.00	
	デンマーククローネ 小計	4,366		1,672,178.00 (27,239,779)	
ユーロ	NESTE OYJ	12,608	28.16	355,041.28	
	THALES SA	3,179	86.26	274,220.54	
	FERRARI NV	2,393	147.50	352,967.50	
	ADIDAS AG	1,097	278.60	305,624.20	
	HERMES INTERNATIONAL	285	664.40	189,354.00	
	VIVENDI	12,271	25.21	309,351.91	
	INDUSTRIA DE DISENO TEXTIL	6,104	30.55	186,477.20	
	BEIERSDORF AG	1,854	102.95	190,869.30	
	L'OREAL	647	256.30	165,826.10	
	GALAPAGOS NV	1,526	188.05	286,964.30	
	CREDIT AGRICOLE SA	12,402	13.05	161,908.11	
	ALLIANZ SE-REG	776	219.70	170,487.20	
	VONOVIA SE	2,935	46.00	135,010.00	
	DASSAULT SYSTEMES SA	2,198	141.60	311,236.80	
	NOKIA OYJ	40,739	3.21	131,036.99	
	E.ON SE	13,891	9.37	130,172.56	
	ASML HOLDING NV	1,499	259.85	389,515.15	
ユーロ 小計		116,404		4,046,063.14 (492,567,726)	
合 計		654,094		4,193,260,456 (4,193,260,456)	

(注1)通貨の種類ごとの小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入株式 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	株式 39銘柄	100.00%	73.07%
カナダドル	株式 1銘柄	100.00%	0.62%
オーストラリアドル	株式 2銘柄	100.00%	1.99%

イギリスポンド	株式	8銘柄	100.00%	4.77%
スイスフラン	株式	3銘柄	100.00%	2.01%
香港ドル	株式	3銘柄	100.00%	2.97%
スウェーデンクローネ	株式	2銘柄	100.00%	1.13%
ノルウェークローネ	株式	2銘柄	100.00%	1.04%
デンマーククローネ	株式	1銘柄	100.00%	0.65%
ユーロ	株式	17銘柄	100.00%	11.75%

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
[令和 1年12月16日現在]	
資産の部	
流動資産	
預金	138,732,219
コール・ローン	367,975,624
国債証券	40,890,984,813
特殊債券	546,000,985
社債券	1,080,292,164
派生商品評価勘定	7,275,000
未収入金	4,407,071,684
未収利息	284,587,113
前払費用	22,714,983
流動資産合計	47,745,634,585
資産合計	47,745,634,585
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	21,287,996
未払金	3,067,017,125
未払解約金	181,852,500
未払利息	515
流動負債合計	3,270,158,136
負債合計	3,270,158,136
純資産の部	
元本等	
元本	14,491,789,760
剰余金	
剰余金又は欠損金（△）	29,983,686,689
元本等合計	44,475,476,449
純資産合計	44,475,476,449

[令和 1年12月16日現在]

負債純資産合計

47,745,634,585

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[令和 1年12月16日現在]
1. 期首	平成30年12月18日
期首元本額	15,492,160,023円
期中追加設定元本額	1,174,657,581円
期中一部解約元本額	2,175,027,844円
元本の内訳※	
三菱ＵＦＪ バランスインカムオープン（毎月決算型）	4,151,685,502円
三菱ＵＦＪ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	500,676,741円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 25	24,782,961円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 50	49,426,182円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 75	11,160,598円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープン	4,025,843,280円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）	3,650,372,568円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）	27,229,571円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープンVA（適格機関投資家限定）	78,585,835円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）	76,107,756円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）	327,809,756円
三菱ＵＦＪ国際 海外債券オープン（適格機関投資家限定）	1,401,212,145円
三菱ＵＦＪ グローバルバランス（積極型）	24,190,859円
三菱ＵＦＪ グローバルバランス（安定型）	19,682,674円
三菱ＵＦＪ グローバルバランスVA	1,804,095円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定型）	11,135,907円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	6,070,918円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（成長型）	3,657,894円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（積極型）	3,996,467円

	[令和 1年12月16日現在]
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	65,982円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	1,252,759円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	1,024,804円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定型）	7,691,608円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	14,131,262円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（成長型）	8,112,654円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（積極型）	4,892,948円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	936,541円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	12,362,795円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040	11,280,028円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 20型	6,749,528円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 40型	12,822,030円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 60型	15,035,112円
合計	14,491,789,760円
2. 受益権の総数	14,491,789,760口

※当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年12月18日 至 令和 1年12月16日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 1年12月16日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[令和 1年12月16日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	1,635,178,685
特殊債券	14,852,387
社債券	3,254,143
合計	1,653,285,215

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[令和 1年12月16日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	ユーロ	3,655,175,000	—	3,633,887,004	△21,287,996
	売建				
	アメリカドル	3,286,800,000	—	3,282,600,000	4,200,000
	イギリスポンド	368,375,000	—	365,300,000	3,075,000
合計		7,310,350,000	—	7,281,787,004	△14,012,996

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
- ①為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
- ②当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	[令和 1年12月16日現在]
1口当たり純資産額	3.0690円
(1万口当たり純資産額)	(30,690円)

附属明細表

第1 有価証券明細表
(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

通貨	種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
アメリカドル	国債証券	1.625 T-NOTE 260215	8,000,000.00	7,953,125.00	
		1.75 T-NOTE 230515	14,000,000.00	14,054,687.50	
		2 T-NOTE 221031	20,000,000.00	20,212,500.00	
		2 T-NOTE 250815	17,000,000.00	17,258,984.37	
		2.25 T-NOTE 210430	17,000,000.00	17,137,460.92	
		2.5 T-NOTE 210131	7,500,000.00	7,570,019.52	
		2.625 T-NOTE 290215	16,100,000.00	17,204,359.37	
		2.75 T-NOTE 240215	26,000,000.00	27,135,468.75	
		2.875 T-BOND 490515	6,000,000.00	6,806,250.00	

		3.125 T-BOND 430215	4,000,000.00	4,646,562.50	
		3.125 T-BOND 440815	2,000,000.00	2,333,906.25	
		3.875 T-BOND 400815	7,000,000.00	9,009,765.62	
		4.5 T-BOND 360215	4,000,000.00	5,390,937.50	
		4.75 T-BOND 410215	5,000,000.00	7,199,218.75	
	国債証券 小計		153,600,000.00	163,913,246.05 (17,937,026,515)	
	特殊債券	1.625 BK NEDERLAN 210419	5,000,000.00	4,989,500.00	
	特殊債券 小計		5,000,000.00	4,989,500.00 (546,000,985)	
	社債券	3.875 COOPERATIEV 220208	4,000,000.00	4,157,683.12	
	社債券 小計		4,000,000.00	4,157,683.12 (454,975,263)	
アメリカドル合計			162,600,000.00	173,060,429.17 (18,938,002,763)	
カナダドル	国債証券	1.5 CAN GOVT 260601	6,300,000.00	6,263,271.00	
		2.25 CAN GOVT 290601	3,500,000.00	3,703,875.00	
カナダドル合計			9,800,000.00	9,967,146.00 (827,671,803)	
オーストラリアドル	国債証券	2.25 AUST GOVT 280521	8,000,000.00	8,669,220.00	
		2.75 AUST GOVT 271121	2,600,000.00	2,911,348.96	
オーストラリアドル合計			10,600,000.00	11,580,568.96 (871,669,425)	
イギリスポンド	国債証券	0.875 GILT 291022	7,100,000.00	7,159,640.00	
		1.75 GILT 490122	500,000.00	556,520.00	
		4.25 GILT 320607	4,500,000.00	6,256,800.00	
		4.25 GILT 551207	3,000,000.00	5,678,796.00	
		6 GILT 281207	2,000,000.00	2,923,200.00	
イギリスポンド合計			17,100,000.00	22,574,956.00 (3,298,878,320)	
シンガポールドル	国債証券	2.75 SINGAPORGOVT 460301	100,000.00	112,455.50	
		3.5 SINGAPORGOVT 270301	1,600,000.00	1,794,400.00	
シンガポールドル合計			1,700,000.00	1,906,855.50 (154,092,992)	
マレーシアリングット	国債証券	3.882 MALAYSIAGOV 220310	3,000,000.00	3,053,719.50	
		3.885 MALAYSIAGOV 290815	3,000,000.00	3,106,386.90	
		3.9 MALAYSIAGOV 261130	3,000,000.00	3,097,124.10	
		4.935 MALAYSIAGOV 430930	1,500,000.00	1,694,305.50	
マレーシアリングット合計			10,500,000.00	10,951,536.00 (289,230,065)	
スウェーデンクローネ	国債証券	1 SWD GOVT 261112	4,000,000.00	4,311,408.00	
		1.5 SWD GOVT 231113	4,000,000.00	4,279,876.80	

		3.5 SWD GOVT 390330	1,000,000.00	1,560,399.20	
		5 SWD GOVT 201201	2,000,000.00	2,102,220.00	
スウェーデンクローネ合計			11,000,000.00	12,253,904.00 (142,880,520)	
ノルウェークローネ	国債証券	1.75 NORWE GOVT 250313	4,000,000.00	4,089,884.00	
ノルウェークローネ合計			4,000,000.00	4,089,884.00 (49,528,495)	
メキシコペソ	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10,000,000.00	11,391,200.00	
		5.75 MEXICAN BONO 260305	100,000,000.00	95,038,000.00	
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	10,000,000.00	9,959,900.00	
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	110,000,000.00	114,466,000.00	
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	25,000,000.00	28,624,750.00	
メキシコペソ合計			255,000,000.00	259,479,850.00 (1,492,009,137)	
ポーランドズロチ	国債証券	3.25 POLAND 250725	4,500,000.00	4,831,926.30	
		5.75 POLAND 220923	3,500,000.00	3,894,450.00	
ポーランドズロチ合計			8,000,000.00	8,726,376.30 (248,003,614)	
南アフリカランド	国債証券	7 SOUTH AFRICA 310228	1,000,000.00	840,050.00	
南アフリカランド合計			1,000,000.00	840,050.00 (6,333,977)	
ユーロ	国債証券	0 O.A.T 230325	10,000,000.00	10,193,320.00	
		0 SCHATS 200612	3,000,000.00	3,009,639.00	
		0.25 BUND 280815	6,500,000.00	6,856,512.00	
		0.75 NETH GOVT 270715	1,000,000.00	1,080,259.00	
		0.9 BEL GOVT 290622	5,800,000.00	6,309,733.00	
		0.95 ITALY GOVT 230301	3,000,000.00	3,074,665.50	
		1 IRISH GOVT 260515	5,000,000.00	5,394,325.00	
		1.1 IRISH GOVT 290515	3,500,000.00	3,863,646.50	
		1.25 BUND 480815	1,000,000.00	1,296,374.00	
		1.25 O.A.T 360525	4,000,000.00	4,560,932.00	
		1.6 BEL GOVT 470622	700,000.00	854,266.70	
		1.75 ITALY GOVT 240701	4,000,000.00	4,230,740.00	
		1.85 ITALY GOVT 240515	16,000,000.00	17,006,688.00	
		1.95 SPAIN GOVT 260430	18,000,000.00	20,142,396.00	
		2 IRISH GOVT 450218	1,000,000.00	1,313,347.00	
		2 O.A.T 480525	4,000,000.00	5,310,968.00	
		2.35 SPAIN GOVT 330730	9,000,000.00	10,950,714.00	
		2.4 IRISH GOVT 300515	1,000,000.00	1,242,988.00	
		3.85 ITALY GOVT 490901	3,000,000.00	3,985,185.00	
		4.5 BEL GOVT 260328	1,000,000.00	1,303,315.00	

		4.75 ITALY GOVT 280901	2,000,000.00	2,613,522.00	
		4.9 SPAIN GOVT 400730	2,000,000.00	3,456,090.00	
		5 ITALY GOVT 400901	2,000,000.00	2,969,788.00	
		5.9 SPAIN GOVT 260730	5,000,000.00	6,906,165.00	
	国債証券 小計		111,500,000.00	127,925,578.70 (15,573,659,950)	
	社債券	2.25 BNP PARIBAS 210113	5,000,000.00	5,136,495.00	
	社債券 小計		5,000,000.00	5,136,495.00 (625,316,901)	
ユーロ合計			116,500,000.00	133,062,073.70 (16,198,976,851)	
合計				42,517,277,962 (42,517,277,962)	

(注1)通貨の種類ごとの小計／合計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入債券 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	国債証券 14銘柄	94.71%	42.19%
	特殊債券 1銘柄	2.88%	1.28%
	社債券 1銘柄	2.40%	1.07%
カナダドル	国債証券 2銘柄	100.00%	1.95%
オーストラリアドル	国債証券 2銘柄	100.00%	2.05%
イギリスポンド	国債証券 5銘柄	100.00%	7.76%
シンガポールドル	国債証券 2銘柄	100.00%	0.36%
マレーシアリンギット	国債証券 4銘柄	100.00%	0.68%
スウェーデンクローネ	国債証券 4銘柄	100.00%	0.34%
ノルウェークローネ	国債証券 1銘柄	100.00%	0.12%
メキシコペソ	国債証券 5銘柄	100.00%	3.51%
ポーランドズロチ	国債証券 2銘柄	100.00%	0.58%
南アフリカランド	国債証券 1銘柄	100.00%	0.01%
ユーロ	国債証券 24銘柄	96.14%	36.63%
	社債券 1銘柄	3.86%	1.47%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。

２【ファンドの現況】

【三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５】

【純資産額計算書】

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	1,029,983,868
II 負債総額	389,376
III 純資産総額（I－II）	1,029,594,492
IV 発行済口数	693,716,830口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	1.4842
(10,000口当たり)	(14,842)

【三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０】

【純資産額計算書】

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	2,077,624,787
II 負債総額	7,285,779
III 純資産総額（I－II）	2,070,339,008
IV 発行済口数	1,326,257,417口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	1.5610
(10,000口当たり)	(15,610)

【三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５】

【純資産額計算書】

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	1,457,457,946
II 負債総額	6,074,946
III 純資産総額（I－II）	1,451,383,000
IV 発行済口数	947,542,300口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	1.5317
(10,000口当たり)	(15,317)

(参考)

三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド

純資産額計算書

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	8,484,349,905
II 負債総額	51,346,684
III 純資産総額（I－II）	8,433,003,221
IV 発行済口数	5,543,559,085口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	1.5212
（10,000口当たり）	（15,212）

三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド

純資産額計算書

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	10,726,762,851
II 負債総額	55,469,728
III 純資産総額（I－II）	10,671,293,123
IV 発行済口数	7,220,680,764口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	1.4779
（10,000口当たり）	（14,779）

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

純資産額計算書

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	4,278,499,919
II 負債総額	1,733,664
III 純資産総額（I－II）	4,276,766,255
IV 発行済口数	1,883,214,433口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	2.2710
（10,000口当たり）	（22,710）

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

純資産額計算書

令和 1年12月30日現在

(単位：円)

I 資産総額	47,727,419,339
II 負債総額	3,079,459,048
III 純資産総額（I－II）	44,647,960,291
IV 発行済口数	14,536,015,841口
V 1口当たり純資産価額（III／IV）	3.0715
（10,000口当たり）	（30,715）

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）名義書換等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、委託会社は、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

（2）受益者等に対する特典

該当事項はありません。

（3）譲渡制限の内容

該当事項はありません。

（4）受益権の譲渡

- ①受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ②上記①の申請のある場合には、上記①の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③上記①の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めたときまたはやむを得ない事情があると判断し

たときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（５）受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

（６）質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、解約請求の受付け、解約代金および償還金の支払い等については、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（1）資本金の額等

2019年12月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間に於ける資本金の額の増減はありません。

（2）委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

①投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

②運用戦略の決定

運用戦略委員会において、①で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

③運用計画の決定

②で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

④ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

⑤投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

⑥投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

⑦ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

⑧運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信

託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2019年12月30日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	888	13,900,037
追加型公社債投資信託	16	1,321,156
単位型株式投資信託	69	327,374
単位型公社債投資信託	9	47,759
合 計	982	15,596,326

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

（1）財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和52年大蔵省令第38号）」（以下「中間財務諸表等規則」という。）第38条及び第57条の規定により、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

（2）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期事業年度（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期事業年度に係る中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより中間監査を受けております。

（1）【貸借対照表】

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
(資産の部)		

流動資産				
現金及び預金	※2	54,140,307	※2	53,969,686
有価証券		19,967		1,403,513
前払費用		362,886		514,587
未収入金		2,109		2,284
未収委託者報酬		9,770,529		9,995,458
未収収益	※2	674,156	※2	560,483
金銭の信託	※2	30,000	※2	100,000
その他		224,645		153,256
流動資産合計		65,224,602		66,699,271
固定資産				
有形固定資産				
建物	※1	760,010	※1	617,032
器具備品	※1	724,852	※1	665,247
土地		1,356,000		628,433
有形固定資産合計		2,840,863		1,910,713
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		2,654,296		3,670,753
ソフトウェア仮勘定		1,097,970		536,345
無形固定資産合計		3,768,090		4,222,921
投資その他の資産				
投資有価証券		26,361,327		21,408,781
関係会社株式		320,136		320,136
投資不動産		-	※1	824,268
長期差入保証金		627,141		593,536
前払年金費用		434,700		415,234
繰延税金資産		1,237,989		1,496,180
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		△23,600		△23,600
投資その他の資産合計		29,002,925		25,079,767
固定資産合計		35,611,879		31,213,401
資産合計		100,836,481		97,912,673

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	359,176	293,258
未払金		
未払収益分配金	174,333	170,281
未払償還金	456,159	448,695
未払手数料	※2 3,905,670	※2 3,990,054
その他未払金	※2 4,330,584	※2 3,961,765
未払費用	※2 4,388,803	※2 3,803,995
未払消費税等	99,010	194,852
未払法人税等	736,829	573,657
賞与引当金	906,167	901,135

役員賞与引当金	125,343	140,100
その他	842,194	868,992
流動負債合計	16,324,272	15,346,788
固定負債		
長期未払金	-	43,200
退職給付引当金	720,536	860,851
役員退職慰労引当金	187,562	144,303
時効後支払損引当金	254,851	247,767
固定負債合計	1,162,951	1,296,122
負債合計	17,487,223	16,642,910
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	3,572,096	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712	44,732,712
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	27,790,911	26,069,594
利益剰余金合計	35,131,500	33,410,184
株主資本合計	81,864,344	80,143,028

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,484,913	1,126,733
評価・換算差額等合計	1,484,913	1,126,733
純資産合計	83,349,257	81,269,762
負債純資産合計	100,836,481	97,912,673

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	75,423,596	70,375,414
投資顧問料	2,723,458	2,505,299
その他営業収益	48,215	18,844
営業収益合計	78,195,269	72,899,557
営業費用		
支払手数料	※2 30,906,879	※2 28,533,952
広告宣伝費	730,784	739,643

公告費	1,000	500
調査費		
調査費	1,723,057	1,794,755
委託調査費	13,467,029	12,194,996
事務委託費	864,916	1,016,816
営業雑経費		
通信費	178,652	170,794
印刷費	467,973	427,442
協会費	50,251	48,375
諸会費	15,328	16,175
事務機器関連費	1,635,079	1,841,631
その他営業雑経費	23,250	-
営業費用合計	50,064,204	46,785,083
一般管理費		
給料		
役員報酬	349,359	349,083
給料・手当	6,421,837	6,453,717
賞与引当金繰入	906,167	901,135
役員賞与引当金繰入	125,343	140,100
福利厚生費	1,231,033	1,234,293
交際費	13,012	13,011
旅費交通費	192,192	200,426
租税公課	410,229	373,201
不動産賃借料	678,182	654,886
退職給付費用	423,171	428,912
役員退職慰労引当金繰入	47,889	51,159
固定資産減価償却費	1,115,719	1,252,321
諸経費	450,299	523,213
一般管理費合計	12,364,437	12,575,461
営業利益	15,766,627	13,539,012

(単位：千円)

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	349,402	181,073
受取利息	※2 483	※2 1,913
投資有価証券償還益	81,580	416,706
収益分配金等時効完成分	91,672	44,392
受取賃貸料	-	※2 38,388
その他	9,989	11,871
営業外収益合計	533,128	694,346
営業外費用		
投資有価証券償還損	30,114	118,173
時効後支払損引当金繰入	43,182	1,166
事務過誤費	10,402	420
賃貸関連費用	-	35,994
その他	3,829	1,481
営業外費用合計	87,529	157,235

経常利益		16,212,226		14,076,123
特別利益				
投資有価証券売却益		516,394		501,778
ゴルフ会員権売却益		7,495		-
特別利益合計		523,889		501,778
特別損失				
投資有価証券売却損		105,903		135,399
投資有価証券評価損		102,096		62,310
固定資産除却損	※1	54	※1	4,848
固定資産売却損		-		225
システム関連費		-		322,986
商標使用料		-		90,000
特別損失合計		208,054		615,770
税引前当期純利益		16,528,061		13,962,130
法人税、住民税及び事業税	※2	5,252,224	※2	4,420,179
法人税等調整額		△76,092		△100,112
法人税等合計		5,176,132		4,320,066
当期純利益		11,351,928		9,642,064

(3) 【株主資本等変動計算書】

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147
当期変動額									
剰余金の配当							△26,595,731	△26,595,731	△26,595,731
当期純利益							11,351,928	11,351,928	11,351,928
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△15,243,802	△15,243,802	△15,243,802
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,494,586	1,494,586	98,602,734
当期変動額			
剰余金の配当			△26,595,731
当期純利益			11,351,928
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△9,673	△9,673	△9,673
当期変動額合計	△9,673	△9,673	△15,253,476
当期末残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257

第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					
		資本剰余金			利益剰余金	
					その他利益剰余金	

	資本金	資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	株主資本合計
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当期変動額									
剰余金の配当							△11,363,380	△11,363,380	△11,363,380
当期純利益							9,642,064	9,642,064	9,642,064
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△1,721,316	△1,721,316	△1,721,316
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257
当期変動額			
剰余金の配当			△11,363,380
当期純利益			9,642,064
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	△358,179	△358,179	△358,179
当期変動額合計	△358,179	△358,179	△2,079,495
当期末残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3)役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

②数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1)消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2)連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」490,903千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,237,989千円に含めて表示しております。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）

(1)概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわせない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

(2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価

中であります。

（貸借対照表関係）

※1.有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
建物	604,123千円	551,025千円
器具備品	1,215,234千円	1,350,407千円
投資不動産	—	138,024千円

※2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
預金	41,809,118千円	240,211千円
未収収益	40,621千円	25,307千円
金銭の信託	30,000千円	100,000千円
未払手数料	1,577,059千円	671,568千円
その他未払金	3,850,734千円	3,217,341千円
未払費用	430,491千円	444,754千円

（損益計算書関係）

※1.固定資産除却損の内訳

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
建物	—	2,547千円
器具備品	54千円	2,301千円
計	54千円	4,848千円

※2.関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
支払手数料	11,380,244千円	5,298,064千円
受取利息	380千円	3千円
受取賃貸料	—	38,388千円
法人税、住民税及び事業税	3,851,536千円	3,216,517千円

（株主資本等変動計算書関係）

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	—	—	211,581
合計	211,581	—	—	211,581

2.配当に関する事項

(1)配当金支払額

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	26,595,731千円
②	1株当たり配当額	125,700円
③	基準日	平成29年3月31日
④	効力発生日	平成29年6月29日

(2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	11,363,380千円
②	配当の原資	利益剰余金
③	1株当たり配当額	53,707円
④	基準日	平成30年3月31日
⑤	効力発生日	平成30年6月28日

第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	—	—	211,581
合計	211,581	—	—	211,581

2.配当に関する事項

(1)配当金支払額

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	11,363,380千円
②	1株当たり配当額	53,707円
③	基準日	平成30年3月31日
④	効力発生日	平成30年6月28日

(2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	9,675,175千円
②	配当の原資	利益剰余金
③	1株当たり配当額	45,728円
④	基準日	平成31年3月31日
⑤	効力発生日	令和 元年6月27日

(リース取引関係)

〈借主側〉

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
1年内	678,116千円	675,956千円
1年超	1,351,912千円	675,956千円
合計	2,030,029千円	1,351,912千円

(金融商品関係)

1.金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第33期(平成30年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	54,140,307	54,140,307	—
(2) 有価証券	19,967	19,967	—
(3) 未収委託者報酬	9,770,529	9,770,529	—
(4) 投資有価証券	26,224,167	26,224,167	—
資産計	90,154,972	90,154,972	—
(1) 未払手数料	3,905,670	3,905,670	—
負債計	3,905,670	3,905,670	—

第34期(平成31年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	53,969,686	53,969,686	—
(2) 有価証券	1,403,513	1,403,513	—
(3) 未収委託者報酬	9,995,458	9,995,458	—
(4) 投資有価証券	21,353,421	21,353,421	—
資産計	86,722,080	86,722,080	—
(1) 未払手数料	3,990,054	3,990,054	—
負債計	3,990,054	3,990,054	—

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(4)投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
非上場株式	137,160	55,360
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第33期(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	54,140,307	—	—	—
未収委託者報酬	9,770,529	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	19,967	13,110,758	8,593,680	68,714
合計	63,930,804	13,110,758	8,593,680	68,714

第34期(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	53,969,686	—	—	—
未収委託者報酬	9,995,458	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,403,513	9,358,708	5,874,634	90,573
合計	65,368,659	9,358,708	5,874,634	90,573

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第33期(平成30年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額（千円）
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	18,599,111	16,040,884	2,558,227
	小計	18,599,111	16,040,884	2,558,227
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	7,645,023	8,062,990	△417,966
	小計	7,645,023	8,062,990	△417,966
合計		26,244,135	24,103,874	2,140,260

第34期(平成31年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額（千円）
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	14,744,545	12,559,380	2,185,164
	小計	14,744,545	12,559,380	2,185,164
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	8,012,389	8,573,551	△561,161
	小計	8,012,389	8,573,551	△561,161
合計		22,756,935	21,132,932	1,624,002

3.売却したその他有価証券

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

種類	売却額（千円）	売却益の合計額（千円）	売却損の合計額（千円）
株式	—	—	—
債券	—	—	—
その他	8,169,769	516,394	105,903
合計	8,169,769	516,394	105,903

第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

種類	売却額（千円）	売却益の合計額（千円）	売却損の合計額（千円）
株式	140,240	58,440	—
債券	—	—	—
その他	5,222,594	443,338	135,399
合計	5,362,834	501,778	135,399

4.減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について102,096千円（その他有価証券のその他102,096千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について62,310千円（その他有価証券のその他62,310千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2.確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,649,089 千円	3,729,252 千円
勤務費用	184,120	193,531
利息費用	27,829	24,351
数理計算上の差異の発生額	56,895	△15,898
退職給付の支払額	△188,683	△218,947
過去勤務費用の発生額	—	—
退職給付債務の期末残高	3,729,252	3,712,289

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
年金資産の期首残高	2,698,738 千円	2,723,393 千円
期待運用収益	48,080	48,664
数理計算上の差異の発生額	47,759	△4,606
事業主からの拠出額	102,564	102,564
退職給付の支払額	△173,748	△203,077
年金資産の期末残高	2,723,393	2,666,937

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	3,374,562 千円	3,125,760 千円
年金資産	△2,723,393	△2,666,937
非積立型制度の退職給付債務	651,168	458,822
未積立退職給付債務	354,690	586,529
未認識数理計算上の差異	1,005,858	1,045,351
未認識過去勤務費用	△ 169,893	△ 114,968
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	△ 550,128	△ 484,766
退職給付引当金	285,836	445,616
前払年金費用	720,536	860,851
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	△434,700	△415,234

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
勤務費用	184,120 千円	193,531 千円
利息費用	27,829	24,351
期待運用収益	△48,080	△48,664
数理計算上の差異の費用処理額	47,053	43,633
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	4,780	5,986
確定給付制度に係る退職給付費用	281,066	284,199

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

(5)年金資産に関する事項

①年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
債券	62.2 %	63.9 %
株式	34.7	33.2
その他	3.1	2.9
合計	100	100

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
割引率	0.069～0.67%	0.035～0.49%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度142,105千円、当事業年度144,712千円であります。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別の内訳

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	445,379千円	436,050千円
投資有価証券評価損	223,512	223,821
未払事業税	135,805	109,109
賞与引当金	277,468	275,927
役員賞与引当金	12,235	19,428
役員退職慰労引当金	57,431	44,185
退職給付引当金	220,628	263,592
減価償却超過額	13,690	157,741
委託者報酬	257,879	264,398
長期差入保証金	23,262	31,721
時効後支払損引当金	78,035	75,866
連結納税適用による時価評価	200,331	148,858
その他	82,168	71,320
繰延税金資産 小計	2,027,829	2,122,023
評価性引当額	—	—
繰延税金資産 合計	2,027,829	2,122,023
繰延税金負債		
前払年金費用	△133,105	△127,144
連結納税適用による時価評価	△1,382	△1,320
その他有価証券評価差額金	△655,348	△497,269
その他	△4	△108
繰延税金負債 合計	△789,840	△625,842
繰延税金資産の純額	1,237,989	1,496,180

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第33期（平成30年3月31日現在）及び第34期（平成31年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）及び第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）及び第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2.地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3.主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1.関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,851,587 千円	その他未払金	3,850,734 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,528,131 千円	未払手数料	665,262 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	664,152 千円	未払費用	348,142 千円
主要株主	㈱三菱東京 UFJ銀行 (注5)	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,852,112 千円	未払手数料	921,796 千円

第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,216,517 千円	その他未払金	3,217,341 千円

親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,298,064 千円	未払手数料	671,568 千円
						投資の助言	投資助言料 (注3)	695,834 千円	未払費用	365,510 千円
						役員の兼任				

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。
2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。
4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。
5. (株)三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で、(株)三菱UFJ銀行に行名を変更しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券(株)	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	6,263,571 千円	未払手数料	907,290 千円

第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高（注 4）
同一の親会社を持つ会社	(株)三菱UFJ 銀行	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	なし (注1)	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	4,629,670 千円	未払手数料	734,633 千円
						取引銀行	コーラブル預 金の預入 (注3)	20,000,000 千円	現金及び 預金	20,000,000 千円
							コーラブル預 金に係る受取 利息 (注3)	1,578 千円	未収収益	1,578 千円

同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券(株)	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	6,152,016 千円	未払手数料	962,840 千円
-------------	----------------------------------	-----------------	---------------	-----	----	---	---------------------------------------	-----------------	-------	---------------

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. (株)三菱UFJ銀行は、平成30年4月2日付で、保有する当社株式のすべてを(株)三菱UFJフィナンシャル・グループに対して現物配当しております。その結果、(株)三菱UFJ銀行は当社の主要株主から同一の親会社を持つ会社に該当することとなりました。
- なお、(株)三菱UFJフィナンシャル・グループは、同日付で、取得した当社株式のすべてを会社分割の方法により三菱UFJ信託銀行(株)に対して承継させております。
2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
3. 預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は1年であります。
4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2.親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

（1株当たり情報）

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
1株当たり純資産額	393,935.45円	384,107.08円
1株当たり当期純利益金額	53,652.87円	45,571.50円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
当期純利益金額（千円）	11,351,928	9,642,064
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	11,351,928	9,642,064
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581	211,581

中間財務諸表

(1)中間貸借対照表

(単位：千円)

第35期中間会計期間
(令和元年9月30日現在)

(資産の部)

流動資産

現金及び預金

46,350,665

有価証券		3,906,355
前払費用		620,446
未収入金		8,561
未収委託者報酬		10,170,592
未収収益		585,312
金銭の信託		100,000
その他		134,705
流動資産合計		61,876,640
固定資産		
有形固定資産		
建物	※1	603,277
器具備品	※1	794,065
土地		628,433
有形固定資産合計		2,025,776
無形固定資産		
電話加入権		15,822
ソフトウェア		3,390,287
ソフトウェア仮勘定		1,024,221
無形固定資産合計		4,430,330
投資その他の資産		
投資有価証券		18,792,024
関係会社株式		320,136
投資不動産	※1	822,988
長期差入保証金		579,291
前払年金費用		420,773
繰延税金資産		1,420,372
その他		45,230
貸倒引当金		△23,600
投資その他の資産合計		22,377,216
固定資産合計		28,833,324
資産合計		90,709,964

(単位：千円)

第35期中間会計期間
(令和元年9月30日現在)

(負債の部)		
流動負債		
預り金		290,587
未払金		
未払収益分配金		131,632
未払償還金		424,093
未払手数料		4,009,808
その他未払金		2,100,383
未払費用		3,020,441
未払消費税等	※2	381,045
未払法人税等		651,051
賞与引当金		924,061
役員賞与引当金		62,295
その他		900,753
流動負債合計		12,896,152
固定負債		
長期未払金		32,400
退職給付引当金		940,446
役員退職慰労引当金		107,709

時効後支払損引当金	243,873
固定負債合計	1,324,430
負債合計	14,220,582
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	2,000,131
資本剰余金	
資本準備金	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712
利益剰余金	
利益準備金	342,589
その他利益剰余金	
別途積立金	6,998,000
繰越利益剰余金	21,264,872
利益剰余金合計	28,605,462
株主資本合計	75,338,306

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)	
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,151,075
評価・換算差額等合計	1,151,075
純資産合計	76,489,381
負債純資産合計	90,709,964

(2)中間損益計算書

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)	
営業収益	
委託者報酬	34,073,281
投資顧問料	1,143,410
その他営業収益	8,361
営業収益合計	35,225,053
営業費用	
支払手数料	13,714,724
広告宣伝費	252,678
公告費	250
調査費	
調査費	911,961
委託調査費	5,769,907
事務委託費	351,511
営業雑経費	
通信費	78,084
印刷費	218,610
協会費	25,207
諸会費	8,034
事務機器関連費	931,984
営業費用合計	22,262,956
一般管理費	
給料	

役員報酬		177,096
給料・手当		2,873,051
賞与引当金繰入		924,061
役員賞与引当金繰入		62,295
福利厚生費		635,789
交際費		4,597
旅費交通費		97,388
租税公課		193,484
不動産賃借料		327,917
退職給付費用		212,710
役員退職慰労引当金繰入		25,108
固定資産減価償却費	※1	647,817
諸経費		177,080
一般管理費合計		6,358,399
営業利益		6,603,697

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)		
営業外収益		
受取配当金		34,517
受取利息		2,101
投資有価証券償還益		327,868
収益分配金等時効完成成分		73,834
受取賃貸料		32,904
その他		15,364
営業外収益合計		486,590
営業外費用		
投資有価証券償還損		46,457
賃貸関連費用	※1	12,337
その他		175
営業外費用合計		58,970
経常利益		7,031,318
特別利益		
投資有価証券売却益		53,850
特別利益合計		53,850
特別損失		
投資有価証券売却損		36,721
投資有価証券評価損		17,395
固定資産除却損		37
固定資産売却損		435
特別損失合計		54,589
税引前中間純利益		7,030,579
法人税、住民税及び事業税		2,095,061
法人税等調整額		65,064
法人税等合計		2,160,126
中間純利益		4,870,453

(3)中間株主資本等変動計算書

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本
--	------

	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028
当中間期変動額									
剰余金の配当							△9,675,175	△9,675,175	△9,675,175
中間純利益							4,870,453	4,870,453	4,870,453
株主資本以外 の項目の当中 間 期 変 動 額 (純額)									
当中間期変動額合 計	—	—	—	—	—	—	△4,804,722	△4,804,722	△4,804,722
当中間期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	21,264,872	28,605,462	75,338,306

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762
当中間期変動額			
剰余金の配当			△9,675,175
中間純利益			4,870,453
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	24,341	24,341	24,341
当中間期変動額合計	24,341	24,341	△4,780,380
当中間期末残高	1,151,075	1,151,075	76,489,381

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

投資不動産 3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

す。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

[注記事項]

（中間貸借対照表関係）

※1 減価償却累計額

	第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)
建物	575,110千円
器具備品	1,377,937千円
投資不動産	141,659千円

※2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

（中間損益計算書関係）

※1 減価償却実施額

	第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
有形固定資産	85,187千円
無形固定資産	562,630千円
投資不動産	3,634千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当中間会計期間 増加株式数（株）	当中間会計期間 減少株式数（株）	当中間会計期間末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	—	—	211,581
合計	211,581	—	—	211,581

2. 配当に関する事項

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

①	配当金の総額	9,675,175千円
②	配当の原資	利益剰余金
③	1株当たり配当額	45,728円
④	基準日	平成31年3月31日
⑤	効力発生日	令和元年6月27日

（リース取引関係）

第35期中間会計期間（令和元年9月30日現在）

〈借主側〉

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	675,956千円
1年超	337,978千円
合 計	1,013,934千円

（金融商品関係）

第35期中間会計期間（令和元年9月30日現在）

金融商品の時価等に関する事項

令和元年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

	中間貸借対照表計 上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	46,350,665	46,350,665	—
(2) 有価証券	3,906,355	3,906,355	—
(3) 未収委託者報酬	10,170,592	10,170,592	—
(4) 投資有価証券	18,736,664	18,736,664	—
資産計	79,164,277	79,164,277	—
(1) 未払手数料	4,009,808	4,009,808	—
負債計	4,009,808	4,009,808	—

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(4)投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に

っております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（中間貸借対照表計上額55,360千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

（注3）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

（有価証券関係）

第35期中間会計期間（令和元年9月30日現在）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額（千円）	取得原価 （千円）	差額（千円）
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えるもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	16,466,321	14,354,198	2,112,123
	小 計	16,466,321	14,354,198	2,112,123
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	6,176,697	6,629,733	△453,035
	小 計	6,176,697	6,629,733	△453,035
合 計		22,643,019	20,983,931	1,659,087

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額55,360千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 減損処理を行った有価証券

当中間会計期間において、有価証券について17,395千円（その他有価証券のその他17,395千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、中間期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)
1株当たり純資産額	361,513.47円
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額（千円）	76,489,381
普通株式に係る中間期末の純資産額（千円）	76,489,381
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数（株）	211,581

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
1株当たり中間純利益金額	23,019.33円
(算定上の基礎)	
中間純利益金額（千円）	4,870,453
普通株主に帰属しない金額（千円）	—
普通株式に係る中間純利益金額（千円）	4,870,453
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- ①自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- ②運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- ③通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下④⑤において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
- ④委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ⑤上記③④に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5【その他】

①定款の変更等

定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

②訴訟事件その他重要事項

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

①名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）

②資本金の額：324,279百万円（2019年9月末現在）

③事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

①名称	②資本金の額 (2019年9月末現在)	③事業の内容
株式会社三菱UFJ銀行	1,711,958 百万円	銀行業務を営んでいます。
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。

2【関係業務の概要】

(1) 受託会社：ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理等を行います。

(2) 販売会社：ファンドの募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

3【資本関係】

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。（2019年12月末現在）

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%（211,581株）を所有しています。

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

第3【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

提出年月日	提出書類
2019年 3月15日	有価証券届出書
2019年 3月15日	有価証券報告書
2019年 9月13日	有価証券届出書の訂正届出書
2019年 9月13日	半期報告書

独立監査人の監査報告書

令和元年6月26日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御 中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青	木	裕	晃	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊	藤	鉄	也	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第34期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の監査報告書

令和２年１月22日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社 取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５の平成30年12月18日から令和１年12月16日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５の令和１年12月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の監査報告書

令和２年１月22日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社 取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０の平成30年12月18日から令和１年12月16日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０の令和１年12月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の監査報告書

令和２年１月22日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社 取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５の平成30年12月18日から令和１年12月16日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５の令和１年12月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

令和元年12月3日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青	木	裕	晃	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊	藤	鉄	也	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第35期事業年度の中間会計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の令和元年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。